

清友

発行者

日根野 文三

発行所

大阪市天王寺区清水谷町2-44

大阪府立清水谷高等学校内

同窓 清友会

TEL.06(6768)4159 FAX.06(6770)5015

<http://www.doso-seiyukai.jp/>

Eメール:seiyukai@carrot.ocn.ne.jp



目次

ありがとう!! 110周年記念事業 大成功	1
会長挨拶・東京支部だより	2
校長挨拶・東海支部だより	3
平成24年度 同窓 清友会 総会報告	4
社団法人 清友会 清算結了報告・ 平成23年度回生別年会費納入状況	5
在校生の活動報告	6
こんにちは 先輩!・清友ゴルフ会、観劇会のお知らせ	
卒業生刊行書籍紹介	7
講演会のご案内・前年度の講演要旨	8
110周年記念事業報告・ 110周年記念グッズ販売のご案内	9

次

創立110周年記念募金芳名録	10・11
創立110周年記念式典写真集	12・13
回生だより	14~18
集う・楽しむ同窓生	19
クラブ代表会だより・川柳	20
在校生支援基金(仮称)の創設と募金のお願い・ 回生代表会だより	21
海外旅行・清友幼稚園だより	22
フェスタ清友・ 平成24年度「同窓 清友会」役員の紹介	23
清友会行事のお知らせ・事務局だより	24

110周年記念事業を終えて



会長

日根野 文三

(高22回)

仲秋の候、清友会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃、清友会に、種々ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

前年度は、110周年記念事業遂行に当たり、多数の皆様より多額の募金を賜り、当初の計画通りに記念事業を実施させていただきました。また、諸事業の実行に際しましては、学校・PTA・清友会の皆様の絶大なるご協力と、三位一体の精神的一体感とによる相乗効果が良い結果を生じさせていただいたものと、感謝いたします。とりわけ、110周年記念実行委員会の皆様には、心より感謝申し上げます。第です。東京・東海両支部、またその他各方面から、

なりました。

遠路をいとわずご出席、ご協力をいただきました。重ねてお礼を申し上げます。

本年6月17日の総会では、例年の議案の他に、

① 110周年記念事業の報告

② 社団法人清友会の社団清算終了

以上2件の報告を行い、それぞれの了承をいただきました。このことにより、110周年記念事業の終了と、国による公益法人制度改革への対応が終了いたしました。

特に②に關しましては、清友会における長年の議論の末、この結論によって、監督官庁による指導・管理より解放され、社団法人制度維持のために行われてきた対外活動が不要となり、同窓会独自の活動に専念できることと

以上により新たな状況を迎えることができましたので、清友会活動は、会員の相互親睦・啓発と在校生支援という大きな二つの目的に向かって参りたいと存じます。このような観点から、従来の事業の見直しと新規事業の開拓・検討を行う必要があると考えます。今までも清友会活動にご参加いただいている会員の方々に、より一層喜んでいただくとともに、若い世代が興味を持って新たに参加していただけるように努力していきたいと思っております。

において、今春卒業されたばかりの高64回生のクラス幹事14名の方々に参加いただきました。若い深淵としたご挨拶の後、当日ご出席の高齢の会員の方への花束贈呈が行われ、微笑ましいひとこまを見せていただきました。また、中西校長先生にはご挨拶の中で在校生が済美館を合宿等の宿泊に利用され、とても喜んでいただいている旨のお話を聞かせていただきました。

さて、110周年記念事業を終えて、今後の方向性を順次明らかにし、様々な課題を具体的に解決していかなければなりません。将来の事業に対する資金の準備などの問題もありますが、先ずは、幹事会が会員の皆様に様々な事業をご提案し、皆様に清友会活動にご参加いただき大いに楽しんでいただけるように努力して参りたいと存じます。そして、ご協力もお願いし、会員の力で同窓会をより一層活力ある組織にしていけたらと希望いたします。

最後に参りましたが、総会のお世話をいただきました皆様、本紙を編集してくださいました皆様、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

東京支部だより

東京支部長

高22回 吉田 順

一昨年の東京支部総会で、7代目の東京支部長に選出されましてから初めての東京支部総会を、昨年の平成23年10月22日(土)に開催しました。一昨年までの「清澄庭園内大正記念館」は、音響設備の使用ができなかったために、銀座日航ホテル「スカイルーム」に変更して実施致しました。まだ不慣れなために隅々までの心配りが不足して、ご迷惑をおかけ致しました。中島汎仁(高10回)前支部長の域までにはまだまだですが、今後も研鑽していきたいと思っております。

さて東京支部総会は、ご来賓として母校に昨年赴任されました中西修一校長先生、恩師の連山豊先生(物理)、織田二郎先生(生物)は2年連続でご出席頂きました。また本部から会長の日根野文三様(高22回)、東海支部から支部長の三堀倅様(高6回)をお迎えし、会員64名出席のもと盛大に開催されました。中西校長からは、母校の進学状況やクラブ活動の近況および教育方針についてお話し頂きました。日根野会長からは「社団法人清友会」の解散と「110周年記念式典」の紹介と参加要請のお話がありました。また、東海支部の三堀様からは、110周年を記念にスタートした支部相互の交流

の歴史が10年目を迎えたこととその意義について、さらに東海支部の状況についてお話を頂きました。

平成23年度東京支部の事業報告、会計報告など総会議事は無事終了し、引き続き中西校長と同期の久川和彦副支部長(高24回)の乾杯の発声で懇親に入りまし



32回(大津康裕氏)による落語「無いもん買ひ」は会場全体を笑いの渦に巻き込みました。その和やかな雰囲気の中で「110周年記念グッズ」の「クリアファイル」「マフラータオル」「マスコット付携帯ストラップ」の3点セットを東京支部総会ご出席の方全員にお配りして大変喜ばれました。今後皆様にも喜ばれる総会を目指して努力していきたいと思っておりますので、ご協力の程よろしくお願い致します。今年の支部総会も、平成24年10月20日(土)に昨年と同様の銀座日航ホテル「スカイルーム」にて13時開催の予定です。皆様お誘い合わせの上でご出席下さいます様お待ちしております。幹事グループの皆様には大変お世話になります。皆様よりよろしくお願いいたします。

た。懇親会の中で、2年連続で高32回生が中心となってお呼びした恩師の連山豊先生、織田二郎先生から懐かしい清水谷高校時代のお話を頂きました。また、中西校長からは、「110周年記念事業」で募集された創立110周年記念歌「かわらない心」のCDをお持ち頂き、記念式典の前に拝聴することができました。そして、清友会のいろいろな行事でも落語を披露されておられますが、東京支部では初登場の桂福車様(高

ご挨拶



校長 中西修一 (高24回)

同窓清友会の会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より、母校清水谷高等学校の生徒のために温かいご協力、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年度は、創立110周年という記念すべき年にあたり、「清水谷はひとつ」をスローガンに、母校の発展のために同窓会・PTA・学校が一体となって様々な事業を展開していただきました。誠にありがとうございました。

さて、学校の状況を2点紹介させていただきます。一つ目は、卒業生及び

二つ目は、「主体性のある学習態度の育成への取り組み」について紹介させていただきます。

今年度は、大阪府の公立高校は、府内私立高校の授業料無償化の拡大による私学との競争や教育委員会によるさらなる特色づくりの推進など大変厳しい状況にあります。

今後とも、長い歴史と伝統の中で、大切に育んできた学校行事や部活動に対する生徒の自主的な活動をより進めるとともに、主体的な学習態度を育成する授業づくりにも取り組んで参ります。

最後に参りましたが、同窓 清友会の活動がますます充実されるとともに、母校清水谷高等学校へのより一層のご協力、ご支援をお願いいたします。

ご挨拶とさせていただきます。



ていきたいと思えます。これからも、ご支援を頂くことも多々あるかと思えますが、一緒に歩んでいきたいと思えます。よろしくお願ひ申し上げます。

は、どうしようかと心配して参りましたが、今年も総勢14名とまずまずの人員です。特に8回生の西尾さんが、13回生の西さんが初めて参加され、大変喜んでおります。

今年も、例年ご参加の森川先生、11回生の西村さんが欠席されました。森川先生は、お仕事のご関係ですが、西村さんは、相変わらず東日本大震災の慰問活動や、日舞の発表会など活躍中ですが、その結果朝帯を損傷され欠席されました。

東海支部だより

東海支部長 高6回 三堀 徹

本年の総会は、母校清水谷の中西校長先生、清友会の日根野会長、そして東京支部の吉田支部長をお迎えして、7月1日(日)にいつもの同じ名鉄グランドホテル「涵梅舫」にて行われました。

- 同窓 清友会東京支部
支部長 吉田 順(高22回)
副支部長 伊部千代子(高19回)
大町 達夫(高22回)
久川 和彦(高24回)
浜口 一恵(高25回)
中村 知司(高32回)
始関 尚子(高32回)
繁田賢太郎(高15回)
宮尾 宗央(高32回)
藤田 正数(高33回)
中島 汎仁(高10回)
相談役

中西校長先生は、我々と同じ清水谷のご出身で、24回生とのことです。最近の母校の状況、及び学生の気風など詳しくお話しいただきました。我々の時代とは大きく変わっておりますが、また新しい変化が起きてきているような感じも致します。

日根野会長からは、大変大きな出来事として、昨年の社団法人の解散とそれに伴う残余財産の処理の問題として110周年の行事のご報告がありました。110周年の行事には、我々東海支部からも役員一同に加えて一般の会員の方も数名一緒に参加しました。



今年の案内状に初めて「お願い」文を同封し、来年の役員任期を目的にどうか若い方に支部長になっていただくように要請いたしました。ぜひ名乗りを上げていただくよう期待しております。

以上

平成24年度 同窓 清友会総会報告

総会報告

「同窓清友会」の総会が、平成24年6月17日(日)に、ホテルグランヴィア大阪にて開催された。新入会員14名と委任状53名を含む221名の出席者があった。

開会の辞、会長挨拶の後、議案書に沿って、別掲の平成23年度の事業報告(案)並びに決算報告(案)が各担当幹事より提案され、その後、矢倉監事より監査報告がなされた。これを出席者に諮ったところ、挙手多数にて承認、可決された。引き続き平成24年度事業計画(案)並びに収支予算(案)が提案され、こちらも同様に承認された。又向井、佐野両幹事が辞任されたため期の途中ではあるが、小川佳秀氏(高22回)小林裕子姉(高23回)を新たに幹事に選出するとの提案があり、承認された。110周年記念事業収支報告の件及び、社団法人清友会清算結了報告の件についても担当幹事から詳細な報告があり拍手多数にて承認された。

懇親会報告

同窓清友会総会終了後、ご来賓24名を含む168名ご出席のもとで、懇親会が盛大に催された。開会の辞に引き続き、高等女学校・高等学校校歌斉唱を行い、中西校長先生(高24回生)にご挨拶をいただき、在校生たちの様子が伝えられた。乾杯の後、楽しい会食のひとときが持たれ、中村佳世子姉(高31回)のピアノ伴奏で、田中友輝子姉(高29回)のメゾソプラノ独唱が披露された。和やかな雰囲気の中、高58回岩瀬昌弘氏の歌唱指導で全員合唱。清友コーラス会員有志が舞台へ上がり宴は大いに盛り上がった。新入会員である64回生が自己紹介挨拶の後、ご出席の本科38・40・41回生8名の方々に花束を贈呈し、拍手喝采のうちに懇親会を終了した。

同窓 清友会 平成23年度収支決算書 正味財産増減計算書

平成23年5月1日から平成24年4月30日まで

(単位:円)

科 目	決算額
I. 一般正味財産増減の部	
1 経常増減の部	
(1) 経常収益	
① 受取会費	5,363,000
② 事業収益	
観劇会	1,594,000
ゴルフ会	0
③ 会合費収入	1,048,000
④ 寄付金収入	50,000
⑤ 総会費収入	1,608,000
経常収益計	9,663,000
(2) 経常費用	
① 事業費	
観劇会	1,594,000
フェスタ清友	294,062
ゴルフ会	0
人件費	249,000
教育文化等振興援助費	391,000
セミナー支出	130,840
② 支部活動費	
東京支部	490,000
東海支部	70,000
③ 管理費	
水道光熱費	13,824
消耗品費	34,327
修繕費	11,550
交通費	130,340
通信費	33,812
備品費	39,375
システム関連費	8,400
110周年記念事業費	7,778,433
会合費	843,189
総会費	1,608,000
事務費	158,338
雑費	80,614
経常費用計	13,959,104
当期経常増減額	-4,296,104
2 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
① 雑収入	12,071
経常外収益計	12,071
(2) 経常外費用	
① ゴルフ会資金除外支出	326,013
経常外費用計	326,013
当期一般正味財産増減額	-4,610,046
一般正味財産期首残高	28,265,266
一般正味財産期末残高	23,655,220
II. 正味財産期末残高	23,655,220

同窓 清友会 貸借対照表

平成24年4月30日現在

(単位:円)

科 目	当年度
I. 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	22,711,812
貯蔵品	943,408
流動資産合計	23,655,220
資産合計	23,655,220
II. 負債の部	
1 流動負債	
仮受金	0
流動負債合計	0
負債合計	0
III. 正味財産の部	
正味財産	23,655,220
正味財産合計	23,655,220
負債及び正味財産合計	23,655,220



2. 支出の部		予 算 額
科 目		
フェスタ清友支出		250,000
セミナー支出		50,000
ゴルフ会支出		200,000
観劇会支出		1,400,000
会報印刷費		1,700,000
通信費		900,000
各種事業支援金支出		30,000
教育・文化等振興援助費		600,000
人件費		1,000,000
東京支部		490,000
東海支部		70,000
総会費		1,800,000
会合費		1,250,000
旅費交通費		200,000
通信費		200,000
水道光熱費		37,000
事務費		200,000
備品費		50,000
修繕費		50,000
システム関連費		120,000
通勤費		72,000
転退職員記念品料		20,000
新入会員記念品料		320,000
慶弔費		30,000
雑費		1,000
予備費		50,000
当期支出合計		11,090,000
当期収支差額		1,060,000

1. 収入の部		予 算 額
科 目		
会費収入		5,000,000
新入会員会費収入		1,600,000
ゴルフ会収入		200,000
観劇会収入		1,400,000
総会費		1,500,000
会合費		1,200,000
寄付金		1,200,000
雑収入		50,000
当期収入合計		12,150,000

同窓 清友会 平成24年度事業計画

- 総会の実施
平成24年6月17日(日)
場所 ホテルグランヴィア大阪
- 懇親会の開催
平成24年6月17日(日)
場所 ホテルグランヴィア大阪
- 第8回フェスタ清友の開催
平成24年10月14日(日)
場所 清水谷高校 各施設
- 新年互礼会の開催
平成25年1月20日(日)
場所 ホテルグランヴィア大阪
- 会報の発行
平成24年10月1日 17,000部
- セミナー等(新規事業)の開催
- 文化講座の継続開催
- 観劇会の開催(2回)
第1回 平成24年秋
第2回 平成25年春
- ゴルフ会の開催(2回)
秋 期 平成24年10月17日(水)
春 期 平成25年4月10日(水)
- 各種会議の開催
①幹事会(原則毎月)
②諮問委員会(年2~3回)
③回生代表会(随時)
④クラブ代表会(年4回)
⑤合同会議(平成24年7月28日(土))
- 支部総会
①東海支部
平成24年7月1日(日)
②東京支部
平成24年10月20日(土)
- 教育・文化等振興援助事業
・在校生支援・クラブ活動奨励
・在校生学力向上支援
- 清友会各種事業支援事業

同窓 清友会 平成23年度事業報告

- 総会と各種会議
①総会・懇親会 平成23年6月18日(土)
<ホテルグランヴィア大阪 224名(委任状含)>
②幹事会 8回<5/21・7/16・9/17・10/1・11/19・1/14・3/10・4/14>
③諮問委員会 2回<5/21・1/14>
④回生代表会 1回<2/11>
⑤クラブ代表会 5回<6/4・10/12・10/2・18・4/14>
⑥合同会議 1回<7/23>
- 各種事業の実施
①創立110周年記念事業
・実行委員会 5回<5/7・7/30・8/20・9/24・10/29>
・記念式典 平成23年11月6日(日)
NHK大阪ホール 1400名
・記念祝賀会 平成23年11月6日(日)
ホテルニューオータニ大阪 385名
②第7回フェスタ清友の開催 平成23年10月16日(日)
<清水谷高校 109名>
③新年互礼会の開催 平成24年1月22日(日)
<ホテルグランヴィア大阪 106名>
④公開セミナーの開催<業業年金会館>
・平成23年12月3日(土) 29名参加
「ソクラテス(哲学)からゲゲゲ(マンガ)まで」山田 博利氏(高3回)
・平成24年2月25日(土) 30名参加
「大阪安全安心の街づくり」中村純造氏(高22回)
- 観劇会の開催
・平成23年9月21日(水) 65名参加 松竹座
「九月松竹大歌舞伎」
・平成24年2月23日(木) 42名参加 松竹座
「二月花形歌舞伎」
- 文化講座・コーラス部の毎月定期開催
- ゴルフ会の開催
・平成23年10月19日(水) 27名参加<伏尾ゴルフ倶楽部>
・平成24年4月11日(水) 34名参加<伏尾ゴルフ倶楽部>
- 東海支部総会 平成23年6月26日(日)
- 東京支部総会 平成23年10月22日(土)
- 教育・文化等振興援助事業
・在校生支援・クラブ活動奨励
・在校生学力向上支援

監査報告書

私たちは平成23年5月1日から平成24年4月30日までの事業年度の業務執行状況、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録並びに関係諸帳票、証拠書類について監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

平成24年5月17日

同窓 清友会 監事 矢倉 裕章
監事 松宮 清隆

社団法人 清友会 清算結了報告

平成23年6月18日に開催された平成22年度決算総会で定款変更、社団法人解散、残余財産処分を承認。その後、大阪府教育委員会へ定款変更認可申請、解散及び残余財産処分許可申請をしていたところ8月4日付で定款変更認可、8月5日付で解散及び残余財産処分許可がされた。

以降は創立110周年記念事業の根幹である済美館の耐震補強改修工事と共に府教委との折衝や清算事務をすすめてきたが残余財産からの母校への寄附金額が12月6日に確定した。

平成24年1月22日にホテルグランヴィア大阪で清算結了総会を開催。

出席者総数は委任状を含め223名で定款第17条に定める200名以上の出席があり総会は有効に成立した。

第1号議案 事業報告、第2号議案 清算結了報告、監査報告がされ、満場一致で承認された。又清算結了にかかる諸帳票については清友会事務局に10年間保管することも併せて承認された。

2月9日付で大阪府教育委員会に対し社団法人清友会清算結了届を提出し、同日付で受理された。

済美館 2階什器備品	4,834,200円
校舎 3階会議室冷暖房設備	3,255,000円
計	8,089,200円

社団法人 清友会 昭和 9年 8月 3日 設立
 平成23年 8月 5日 解散
 平成24年 1月22日 清算結了

平成23年度回生別年会費納入状況

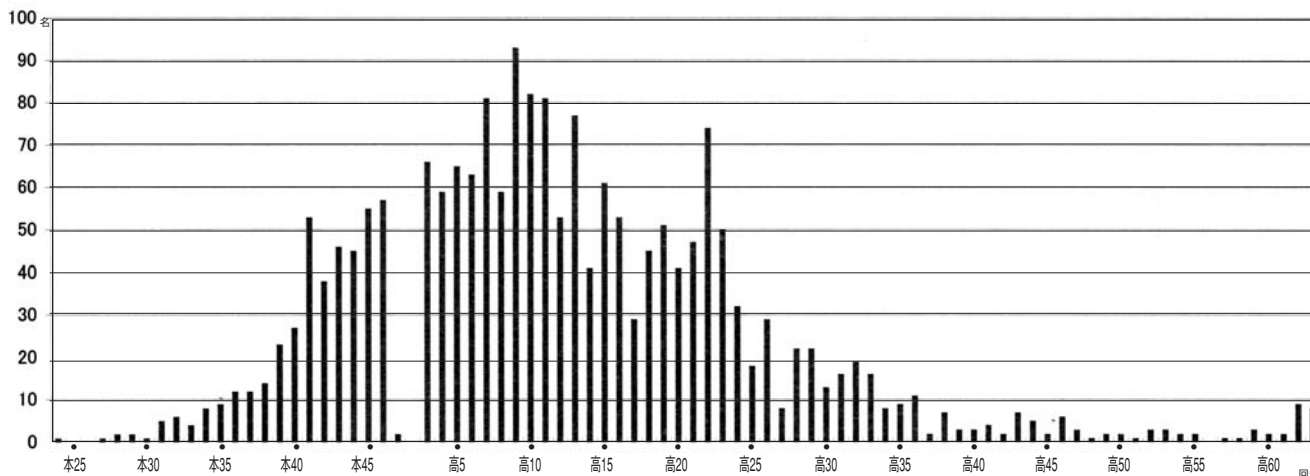
1,984人の方から3,968,000円の納入

——— 会費納入のお願い ———

会費納入率が低下しており、財政的に厳しい状況です。

より親しみやすい同窓会活動を行うために、

年会費2,000円の納入にご協力下さい。



紙面の都合上、5年毎の表示になっています。

在校生の活動報告



教頭 若林 智子

「部活動」では、入部率は現在9割となっております。...

「部活動」では、入部率は現在9割となっております。...

平成24年度は、1年生280名、2年生320名...



済美館で開催した本校初の校内英語スピーチコンテスト

《平成23年度～平成24年度前半の部活動記録》

- 陸上競技部 第67回大阪高校総合体育大会 (H23.8.18) 男子走り幅跳び 5位...



体育祭

また、自治活動の大きな柱は学校行事です。...



「自治活動」については、今年度も昨年度に引き続き、...



文化祭

企画・運営を行っています。その他の学校行事でも、...

今年度よりホームページを一新いたしました。...

インタビュー

こんにちは 先輩!

「乳母日傘…」



本科41回 大中 幸子さん

「昔はね、清水谷高等女学校の生徒さんは『乳母日傘で坂登る』言うて、乳母さんに日傘をさして

もろて学校の坂道登ららばったんやて。ほんまよ。清水谷はお金持ちで賢こ

うてええとこの嬢さんが行ったんよ」(嬢さん：関西で良家の娘を敬愛して呼ぶ語)

ええとこの嬢さんが通う名門校としての名声は、日本はおろか遠く海外、上海にまで聞こえていて、清水谷の噂を聞いていた

と言って、編入試験を受け神戸から通われた方もあったとか。今回は生まれも育ちも大阪の大中さんに登場してもらいま

す。 「私、元気そうに見えるでしょ？そやけど若い時分からいろんな病気して満身創痍やの。心臓も悪いし腎臓やら内臓も五つほどないし、網膜剥離で片方の目は殆んど見えてへんのよ」と開口一

番。びつくりしましたが、総会へも参加され、インタビューにもお元気に答えて下さいました。

「私、元氣そうに見えるでしょ？そやけど若い時分からいろんな病気して満身創痍やの。心臓も悪いし腎臓やら内臓も五つほどないし、網膜剥離で片方の目は殆んど見えてへんのよ」と開口一

番。びつくりしましたが、総会へも参加され、インタビューにもお元気に答えて下さいました。

「私、元氣そうに見えるでしょ？そやけど若い時分からいろんな病気して満身創痍やの。心臓も悪いし腎臓やら内臓も五つほどないし、網膜剥離で片方の目は殆んど見えてへんのよ」と開口一

番。びつくりしましたが、総会へも参加され、インタビューにもお元気に答えて下さいました。

「私、元氣そうに見えるでしょ？そやけど若い時分からいろんな病気して満身創痍やの。心臓も悪いし腎臓やら内臓も五つほどないし、網膜剥離で片方の目は殆んど見えてへんのよ」と開口一

番。びつくりしましたが、総会へも参加され、インタビューにもお元気に答えて下さいました。

「私、元氣そうに見えるでしょ？そやけど若い時分からいろんな病気して満身創痍やの。心臓も悪いし腎臓やら内臓も五つほどないし、網膜剥離で片方の目は殆んど見えてへんのよ」と開口一

番。びつくりしましたが、総会へも参加され、インタビューにもお元気に答えて下さいました。

「私、元氣そうに見えるでしょ？そやけど若い時分からいろんな病気して満身創痍やの。心臓も悪いし腎臓やら内臓も五つほどないし、網膜剥離で片方の目は殆んど見えてへんのよ」と開口一

番。びつくりしましたが、総会へも参加され、インタビューにもお元気に答えて下さいました。

「私、元氣そうに見えるでしょ？そやけど若い時分からいろんな病気して満身創痍やの。心臓も悪いし腎臓やら内臓も五つほどないし、網膜剥離で片方の目は殆んど見えてへんのよ」と開口一

番。びつくりしましたが、総会へも参加され、インタビューにもお元気に答えて下さいました。

「私、元氣そうに見えるでしょ？そやけど若い時分からいろんな病気して満身創痍やの。心臓も悪いし腎臓やら内臓も五つほどないし、網膜剥離で片方の目は殆んど見えてへんのよ」と開口一

番。びつくりしましたが、総会へも参加され、インタビューにもお元気に答えて下さいました。

「私、元氣そうに見えるでしょ？そやけど若い時分からいろんな病気して満身創痍やの。心臓も悪いし腎臓やら内臓も五つほどないし、網膜剥離で片方の目は殆んど見えてへんのよ」と開口一

番。びつくりしましたが、総会へも参加され、インタビューにもお元気に答えて下さいました。

「私、元氣そうに見えるでしょ？そやけど若い時分からいろんな病気して満身創痍やの。心臓も悪いし腎臓やら内臓も五つほどないし、網膜剥離で片方の目は殆んど見えてへんのよ」と開口一

を買ってもらって、近所では2軒くらいしかピアノを習っている人がいなかったの。

それから、同じ学年の加藤礼子さんは在学中からもう既にバレエのプロとして活躍していて、当時日本人でただ一人「ホリデイ・オン・アイス」の入団試験に受かった人なんよ。アイスケートの稲田悦子さんの後輩で、女学校卒業後入団してその後もいろいろ大活躍されています。同級生にそんな人がいてはったので本当に驚きました。

「感謝したいこと： 体育祭では、学年対抗で優勝！吉永先生の特訓のお蔭です。あの時は本当に嬉しかったです。5年間、毎日、お習字を提出しました。それで卒業時には、みんな字がとてもしっかりになりました。年取ってまた下手になりましたけど。」

「辛かったことや悲しかったことはありますか。 木内先生の「生物」と「作法」の授業、岡田先生の「女子鑑」の授業が厳しくしんどかったですね。」

「女子鑑」：婦道、女の道をしなぶ教科書

なんと言っても一番悲しかったのは、5年生の時アルバム委員をして頑張ったのに、卒業間際に病気をして学校へ行けず、卒業式にも出席できなかつたことです。

「女学校卒業後は、女子挺身隊として枚方の陸軍造兵廠で働くか、結婚するか、或いは、大学へ進学するかを決めなければならなかったと聞いてます。」

「挺身隊として枚方へ行くように言われたんやけど、私は無理でけん身体でしたので淀屋橋の日本銀行に行かしてもらいましたが、帳面が3銭合わへんからと夜12時頃まで残業させられたり、無理難題を押し付けられたりしましたので一緒に行った友だちと毎日「いややなあ、帰るか」とばっかり言っていました。着物を着ていったように思います。」

「戦争までの良き時代は： 在学中に天六の辻割烹学校にも通たんですけど、お料理を作る材料がないので、辻勲先生は「ダンスしよう」と言われて昼の部屋ですつとダンスしてね。和食は辻徳光先生でした。お造りなんかコンニャクで切る練習をしたの覚えてます。」

あの頃の女学生の楽しみはタカラヅカ。でも教護連盟が見張っているから、保護者同伴でないとお宝塚やピアノの会へ行けなかつたの。私は家で仕事している父に宝塚に付いて来てもらえたんです。それで友だちまで「幸子さんのお父さんに頼もう

！」って。最も父は客席ですつと寝てましたけど…。

当時の宝塚歌劇の人氣はほんとにすごかつたですよ。フアンの子はタカラジェンヌの家にまで遊びに行ったりしてね。月組花組雪組の合同公演などは切符取るのにどれだけ大騒動したことか。戦争までの良き時代やったわね。」

「今、清水谷高校の後輩へぜひ伝えたいこと： 「頑張って欲しい！」の一言です。」

大中さんは、これからも可能な限り同窓会や地域の婦人会などの世話を引き受け、自分のことだけでなく、人の世話を過ごしたいとおっしゃっておられます。執筆、押し紙と大変趣味の広い先輩ですので楽しいお話がたくさん聞けること間違いなしです。南堀江・立花通へいらした折には「こんにちは先輩！」と訪ねてみて下さい。

お好きなせりふ： 「物にはすべて名前があるの。ヘレン、今のあなたから抜ける方法はただひとつ、言葉なのよ」

「上方芸能」に執筆した大中さんのエッセー「エッセー好きなせりふ」奇跡の人」から

「物にはすべて名前があるの。ヘレン、今のあなたから抜ける方法はただひとつ、言葉なのよ」

清友ゴルフ会のお知らせ

第49回 平成24年10月17日(水) 伏尾ゴルフ倶楽部 10組

第50回 平成25年4月10日(水) 伏尾ゴルフ倶楽部 10組

第48回ゴルフ会のご報告

さる4月11日、伏尾ゴルフ倶楽部においてゴルフ・コンペを実施しました。参加者は34名でこれまでで最多でした。残念ながら雨が降り、風が吹く悪いコンディションでしたが落伍者もなく、全員元気にプレーしました。個人戦の優勝は、黒田 皓さん(高15回)で清友会長杯を獲得されました。

観劇会のお知らせ

本年第一回は9月19日に行いました。第二回は未定ですが、観劇会未登録の方で参加ご希望の方は、清友会事務局までご連絡下さい。

清友会所蔵 卒業生刊行書籍紹介(今回寄贈分)

貸出もしております。お問い合わせは清友会事務局まで。

書名	回生	著者
「小さい妖精」	本27	妣田 圭子
「筆と祈りとど根性と」	本28	長浜 光
「あじさい色の黄昏」	本34	泉 栄子
「北辺彩光」	高17	脇田 祐裕
「次に会う人」	高23	赤井 宏之

講演会のご案内



演題 「学校建築の新風」

大阪府立清水谷高等学校

濟美館について

講師 清瀬 みさを先生

〔同志社大学文学部美学芸術学科教授〕

日時 平成24年11月25日(日)

午後1時30分～3時

場所 濟美館2F

社団法人清友会では、長年に亘り、公開セミナーを開催してまいりましたが、社団の結了とともに事業の在り方を見直すべく、会員の皆様方に喜んでいただけるものはないかと模索いたしておりました。ちょうど、今年の春、NHK文化センター京都支社より連絡があり、生涯学習の一環として、各地の名建築を見学する「名建築見て歩き」という現地講座を実施しているが、大正時代に建てられ文化的価値の高い「濟美館」を見学したいということで、6月半ばに講師の清瀬先生と35名ほどの見学希望者の方が濟美館に来られました。清友会の幹事数名もその講義を聴かせていただいたのですが、講義のあとで、是非、卒業生を対象にして、再度そのお話をしていただけないかと先生にお願いしたところ、ご快諾を得ましたので、ここにご案内をさせていただきます。

皆様お誘い合わせの上、晩秋の午後、是非懐かしい母校をお訪ねくださいませよう、お待ちしております。申し上げておきます。

前年度の講演要旨 (第30回公開セミナー)

平成23年12月3日(土)

『本と親しむ』ソクラテス(哲学)から

ゲゲゲ(マンガ)まで

高3回 山田 博利



マンガ・エホン・児童文学について

戦前には『のらくろ』や、4コマ『フクちゃん』(朝日新聞・横山隆一)それに、私の好きな『冒険ダン吉』(島田啓三)がありました。

戦後はいろんなマンガが出て来ました。手塚治虫、『サザエさん』など...

そして、水木しげるもそうです。わが国でマンガがブームになったのは1960年代の末からです。その基盤となったのが雑誌『ガロ』(長井勝一編集)です。現在の漫画家は、ほとんど『ガロ』を経由しています。(詳しくは Wikipedia)。

(詳しくは Wikipedia)。

エホンは、今では幼児、子供の本だけではありません。『二〇〇万回生きたねこ』(佐野洋子)以来、エホンは大人の分野にもなりました。

気が高くなります。S22朝日→石坂洋次郎『青い山脈』・同年毎日→大佛次郎『帰郷』・S23毎日→獅子文六『てんやわんや』・S24朝日→村上元三『佐々木小次郎』・S26朝日→林芙美子『めし』など。

昭和30年になり、『経済白書』は「もはや戦後ではない」と発表しました。なおこの頃、経済新聞に「ヤネウラ3ちゃん」(南部正太郎)という4コママンガがありまして。これは大阪発信のマンガでした。

戦後の10年 日本が戦争に負けた日、昭和20年8月15日はカンカン照りの日でした。翌年、坂口安吾が『墮落論』を発表し戦争に負けたから墮落したのではない。人間なるが故に墮落するのだ。墮落するのなら、底まで墮落しろ。そこから何か新しいものが生まれ来る。これには、敗戦国民は親鸞のように慰められたのでしょうか。

この頃に田村泰次郎の『肉体の門』が出ました。昭和22年頃から新聞小説への人

きぬぎぬ(後朝) 美しい日本語として

きぬぎぬ(後朝)というコトバは平安朝にうまれたものです。それが現代まで連続として繋がっています。

きぬぎぬとは、男女が偶然おなじ宿に泊まり、二人の着物を重ねて一夜をすごし、朝(後朝の別れ)互いの下着を交換して(思い出として)別れる...もう二度と会えないでしょう。これがきぬぎぬです。

大阪の治安情勢を見てみますと、平成23年の大阪府の犯罪件数(刑法犯認知件数)は約14万5千件で、平成13年のピーク時の32万7千件に比べると半減以上となっております。

改善してきます。これらは、地道な犯罪対策への取り組み、すなわち市民の防犯意識の向上、自治体及び関係団体の犯罪環境に対する取組み、そして警察の地道な捜査活動が相乗的に効果を発揮していると言えます。

今後市民の皆さんの防犯への取組み、交通事故防止等身近な事件、事故への防止対策が何よりも更なる犯罪の減少への原動力となります。

防犯対策では、「光」、「音」、「鍵」、「人の目」がキーワードです。すなわち防犯灯などで街を明るくすること、防犯ブザー等を携帯すること、強固な鍵を付けたら、二重に鍵をつけること、近所の声掛けなど人の目で

私、大阪府警察に37年間奉職し、昨年3月に大阪府警察学校長を最後に定年退職いたしました。この間、警察官として大阪の安全と安心の街づくりに取り組ん

高22回 中村 純造

『大阪安全安心の街づくり』

平成24年2月25日(土)



大阪の治安情勢を見てみますと、平成23年の大阪府の犯罪件数(刑法犯認知件数)は約14万5千件で、平成13年のピーク時の32万7千件に比べると半減以上となっております。

改善してきます。これらは、地道な犯罪対策への取り組み、すなわち市民の防犯意識の向上、自治体及び関係団体の犯罪環境に対する取組み、そして警察の地道な捜査活動が相乗的に効果を発揮していると言えます。

今後市民の皆さんの防犯への取組み、交通事故防止等身近な事件、事故への防止対策が何よりも更なる犯罪の減少への原動力となります。

防犯対策では、「光」、「音」、「鍵」、「人の目」がキーワードです。すなわち防犯灯などで街を明るくすること、防犯ブザー等を携帯すること、強固な鍵を付けたら、二重に鍵をつけること、近所の声掛けなど人の目で

悪質商法対策では、「振り込め詐欺」その他「催眠商法」、「靈感商法」さらには偽ブランドの「不正商品販売」等不審な電話、勧誘には親族への相談や警察、自治体の窓口へ相談するなど優先して、安易に応じないことです。

薬物対策では、麻薬、覚せい剤など違法薬物には絶対手を出さないことです。急性中毒で死に至ったり、薬理作用により幻覚や妄想から殺人、放火等の凶悪犯罪を引き起こしたり、また薬物の購入資金を得るための犯罪も引き起こすことにもなります。

交通対策では、法令順守及び交通マナーを向上させることです。平成23年中、大阪府下で交通事故の発生件数は約5万7千件で、死者197人、負傷者5万9千人です。態様は、出立頭追突、右左折時等交差点が、一番多い。運転手側では、飲酒運転、スピードの出過ぎが多い。道路は市民みんなのもの、お互いが快適に行けるよう決められたルールを守り、譲り合う精神が大切と思われれます。

市民一人ひとりが防犯、交通安全に心がけ、ご家族の方々、近隣の方々、会社の方々、社会の方々に広めていただければ、「安全・安心の街大阪」が確実に形成されていくと思います。そして安全・安心の街は市民みんなの願いでもあります。

110周年記念事業報告

清友会の皆様におかれましては、益々ご活躍の御事と存じ上げます。

昨年11月6日、創立110周年記念式典ならびに記念祝賀会をそれぞれNHK大阪ホール、ホテルニューオータニ大阪にて盛大に開催することができました。会員の皆様の温かいご協力とご支援の賜物であると、役員一同心よりお礼申し上げます。

お蔭様で、済美館は耐震補強工事を無事に終え、芸術性の高い歴史的な建造物として存在すると同時に、在校生が高校生活を更に充実させる場としての財産を残すことができました。

この場をお借りして、110周年記念事業の収支報告をさせていただきます。

収 入

募金	
清水谷高校	3,250,076
生徒・PTA	472,240
その他	3,635,548
清友会	22,807,561
合 計	30,165,425 ①
記念祝賀会	
入金額	3,920,000
会費10,000円 参加申込者392名	
支払額	3,883,874
ホテルニューオータニ支払・乾杯用ワイン・欠席者返金	
剰余金	36,126 ②
記念グッズ販売	964,500 ③
銀行利息4行分	651 ④
社団法人清友会から	5,269,200 ⑤
寄附金 4,834,200を含む	
収入合計額	36,435,902
	①+②+③+④+⑤

支 出

済美館耐震補強工事費（設計監理料を含む）	38,608,500
グッズ製作費	1,867,950
記念誌発行代	1,984,500
記念式典	1,975,089
クリアファイル製作費（無料配布分）	249,900
学校備品	144,916
郵便口座振替手数料・その他手数料	326,888
支出合計	45,157,743

収入－支出＝－8,721,841 ⑥

記念グッズ在庫品を原価で計算した金額 943,408円を
貯蔵品として計上 ⑦

⑥+⑦＝7,778,433 同窓清友会から支出
(正味財産増減計算書の110周年記念事業費と一致)

110周年記念グッズ販売のご案内

同期会等で販売して下さるようお願いいたします。
販売して頂いた分は同窓清友会の収入として計上されます。
グッズについてのお問合せは清友会事務局へ。(☎06-6768-4159)



マフラータオル
(19cm×120cm)
1枚 500円

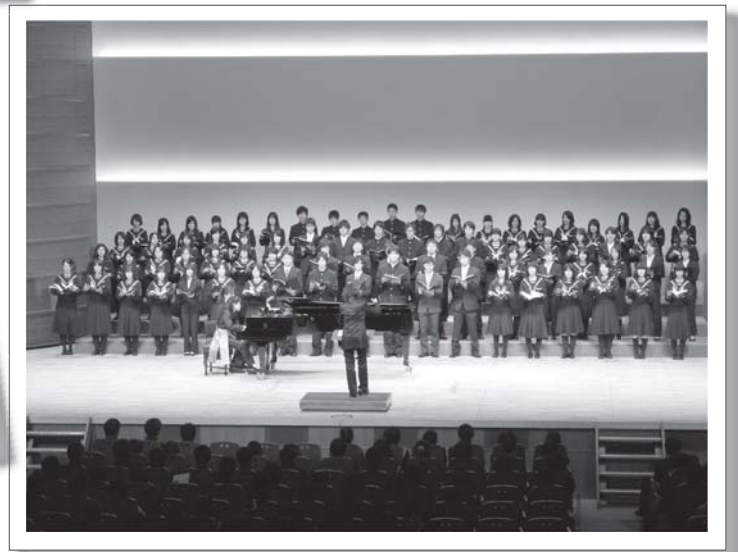


クリアファイル
初代、大正時代の2代目、
現在の校舎と生徒の授業や
体育祭の写真で構成
3枚一組 200円



マスコット付携帯
ストラップ
(青、赤、緑)
1個 500円

年記念式典 める絆、次代に繋ぐ—



創立110周年

清水谷はひとつ—深



回生だより 1

生駒節子さん 急逝される

本44回 森田 良子

あまりにも突然の事ですが、この辺で気持ちいまだに信じられない気持ちで、現実を皆様に御報告しておかなくてはと、約4年前程前から節子さんは、心臓弁膜症との診断を受け手術をすすめられましたが、ここのところ体調を崩されておりました御主人を一人家に残して入院などとも出れないという事で、信頼する教え子の循環器専門の病院で、薬物治療をしておりました。今年になってからは随分元氣を取り戻され、紅型教室仕事始め(1月10日)にはとてもはりきって出席され今年の製作の段取り等積極的に取り組みでおられましたので私共一同ほっとしておりました。が今年例年になく氣候が大変不順で老々介護の身には非常に残酷な冬でした。寒間は十分に休養をとってゆつくりと静養なさった事でしょう。電話では殆ど毎日のようにお話しして、外出も控えて介護に専念されておられた事と思います。2月24日の事です。「会っておしゃべりがしたい」との電話がありましてので天王寺まで出向きました。「頼ま

れていた原稿も書け、友人からの手紙の返事も殆ど出せ、奈良の仕事も今日で終わったのでヤレヤレほっとしたわ」と、今までにお見かけした事のないそれはそれは明るい笑顔で、私の方が本当にびっくりしてしまふ程の良いお顔でして、「来週の紅型には必ず出席するからね」と約束をして、4時頃電車までお送りしました。28日紅型の日です。節子さんの昼食も当番の人が用意をして、久しぶりにいらっしゃる節子さんをお待ちして、残りのケイタイ電話に「節子が亡くなりました。すぐ来て下さい」との訃報が飛び込んできて参りました。

息つく暇もなく、すぐ駆けつけられましたが、時すでに遅し。先生のお話では夜8時頃看護師さん見回りの時はベッドですやすやすとやすんでおられたそうですが、10時の消灯時の見回り時には呼吸が無く急いで人工呼吸を施されたそうですが効果無く死因は「一瞬の心臓発作によるもの」と言う事でした。2月27日です。無言の御帰宅をされました節子さんのお顔は本当に穏やかで、安らかな、総ての心配事から解放された安堵の表情さえ浮かんでいて、万感の思い涙があふれてきました。この世に生を受けて80余年私共には到底なし得ない程の沢山の立派なお仕事を総てこなして信頼している教え子の病院のベッドの上での大往生。まさに大往生でした。楽しみにしておられた4月の紫苑会には私共でささやかながら追悼の意を表して一同献杯を捧げて永遠の御冥福をお祈り致しました。御主人も約4ヵ月ばかりの入院。小康状態になられ6月11日に退院なさいました。弟の靖夫さん、義夫さん、希己子さん御夫妻の献身的な介護にささえられて現在に至っております事を取り敢えず御報告させていただきます。

本40回「みのり会」

本40回 本田 博子

本40回(みのり会)は、平成24年3月4日(日)ホテルグランヴィア大阪で、卒業70周年。米寿(88歳)の学

年会を中西校長先生(高24回)、清友会幹事 大宮葉子様(高13回)に来賓として御出席頂き、私達29名、合計31名で実施した。昭和18年3月、206名卒業。昨年安否確認して名簿整理をしたら111名。半数以上現存していることがわかり喜んだ。卒業60周年同窓会から続けて年2回。学年有志で3月「弥生の会」。10月「神無の会」を続けてきて、何とか米寿の会がしたいと願うようになった。私達の学年は昭和7年小学校入学以来卒業迄、昭和6年満州事変、昭和12年日支事変、昭和16年太平洋戦争、昭和18年卒業、20年終戦と日本は戦争をしてきた。スカートをモンペにはきかえ、学徒動員で工場へ。旋盤やヤスリで兵器製造。秋には男手不足の農家へ稲刈り。脱殻の手伝い。護国神社建設の整地作業にツルハシやモッコで作業し、防空演習や竹やり訓練など。その中で初代校長大村先生の「愛と恕」を基盤としたユニークできびしくも温かい授業や生活指導を受けた。最後は空襲で家を焼かれ、操縦している敵機の顔が見える位に迄急降下してきた艦載機から機銃掃射を受け、生命と直接むきあい、物資不足(食料、衣料、その他)の中で、誇りをもって生きる教育をうけた。

そのおかげで今日迄何とかがんばって生きてこれたことを感謝し、加えて何時迄戴けるかわからない残りの人生を一人一人おるはよからずいを皆で力をあわせ、情報、経験、知恵を交換し、はげましあって少しでも健康寿命ですごせるのに役立つ学年会にしたいと話した。高齢者の集まりなので、ホテルにも細かい心くばりをお願いし、お互いの緊急連絡先もしらべ、バックミユージックも自分達で用意した。集合写真は受付時間を少し早め、あらかじめ席順をきめ、その通りの記名表を用意し、周りに渡せるようにした。限られた時間なので、帰宅してから又ふり返り楽しんででもらい、役にたつお土産を用意した。「ひなあられ」、高齢者が何時も持っている必要がある「パーソナルカード」、各自が自分用に記入すればよいもの。プログラム。出席者名簿、私達が生まれた1925年から今日迄の略年表(いろいろのことがあった。世界、日本。身近で)。当日、河東けいさんに朗読してもらった小林百合子階堂さんの「原爆被爆体験記」。これは小林さんが広島で原爆を被爆された体験を短歌を加えて、やまとまどめられた原稿を広島市に贈られ貴重な資料として、原爆記念館に永久保存されたもの、よくぞここ迄無事にこられたと胸うつつ原稿。高年齢を生きる心がまえ。清水谷の校庭が空襲で火の海になった時の記録。戦争中の日常生活の記録(ある文集より)。集合写真、流

八潮会

本41回 千葉 敏子

行のはじまりの「塩こうじの作り方。レンジ」。御自分だけでなく、御家族ともに楽しんで頂けるように、「脳トレ」や「パズル」など次々と、慣れないパソコンと向きあって、御参考になればとお当番で手分けし一生懸命用意、約15種類。当日は正面に清友会からお借りした思い出の毛糸の制帽を飾り、今日の会をもつことが出来た感謝のことはにはじまり、物故者への黙祷。校長先生の御挨拶。各自の近況。東京、徳島からの参加もあり、次々と今日迄の生きた足跡と現在のこの報告があり、現代の現役でテレビにも出演したり、海外との交流、若い人の指導、華道、絵画など一流の地位や個展の開催。社会的なボランティア活動等々。皆さん異口同音に清水谷を受験する迄の勉強、在学中の教育のおかげで、プライドを持って今日迄がんばってこられたと感謝を述べられた。河東けいさんに小林百合子さんの原爆被爆の原稿を朗読して頂き、二度と戦争にならないように祈った。お白酒で乾杯。細やかで心のこもったお料理を楽しみ、アツという間に時間がたち、なつかしい「早春賦」「おひな祭り」「幸の歌」一校の心をこめて合唱。2年後の90歳、卒寿の会が出来たらいいね、との声も聞かれ、大宮さんの御挨拶もありお開きになった。高年齢の集まりで案じたが無事皆さんが帰宅されホッとしました。今後とも助けあい、はげまし努力してよい人生のしめくりを迎えられますよう心から感謝をこめて祈ります。

春、4月19日、ヒルトンホテル飛鳥の間で八潮会が開かれ、28名が集まりました。原発その他、騒がしい世の中で元氣で再会できた事を感謝し喜び合いました。春の色彩ごとのテーブル、いろんな面から工夫された小さな折り紙が現れ心が和みました。美しいシャソソンの独唱、校歌をはじめ、懐かしい歌声に包まれました。グループ毎の写真も、清水谷高女の誇りと思いい出あふれた写真に編集されました。楽しく語り合い交友の絆を深め、名残のつきない三時間でした。秋、11月12日もう一つの爽風会が、南のしる芳で開かれ20名程集まりました。夏、恒例の七夕旅行があり、新幹線「さくら」で、鹿児島往復。その乗り心地のよさ、スピードに一同歓喜し、技術の進歩に感謝しました。指宿にて一泊。名所旧蹟を巡り見聞を広めました。40年間の七夕旅行のよき仕上げとなりました。東京では、5月22日新宿のなだ方で八潮会が開かれ、9名が参加。楽しいひと時を過ごしました。来年は、米寿を迎えます。たくさんの方々が、元氣な

お顔を一堂に揃える事が、
できますよう祈っております。

いづみ会

本43回 三輪 澄子

5月18日、例年のホテルで、いづみ会を開催いたしました。今年は寒さ暑さの不順な春でしたが、皆様お元気で当日も好天気に恵まれ、昨年同様の34名の御出席で幹事一同ほっと致しました。東京からも2名の出席が有り、嬉しい事でした。又本年は思いもかけず尾崎公子様の御参加が有り、一段と盛り上がりまして頂きました。尾崎様は今5月3日満90歳になられ一層の御健康と行動力に私共感服致しました。

全員の近況報告の間にも人生何事も受け入れ、あらゆる事に挑戦し楽しく目的を持って有意義に過ごす事等、お話が有って、今日出席出来た私達は本当に幸せでした。その後、今朝もお稽古があったと言われた宇野様に謡曲宝生流の「鞍馬天狗」の「花見」を。林様には観世流の「猩猩」を御披露して頂きました。長年続けてこられた事にも感心させられました。その他、それぞれに興味、お楽しみを持たれ生活を楽しくいらつしやる様子を嬉しく思いました。御欠席の中でも御具合の悪い方、療養中の方には一日も早い御回復お待ちしております。

美味しく御料理も進み、デザート頃に清友コーラ

ス部員をはじめ全員で校歌、幸の花、夏は来ぬ、夏の思い出、故郷の斉唱のなごやかな中に散会となりました。帰りには尾崎様よりのお土産をそれぞれにお渡し頂き感謝と共に別れ致しました。

来年の幹事の方、日取りも決まり元気に再会をお約束致しました。あわててつまづかない事。ころばない事を心にきざんで行動いたしましょう。

しいの実会

本45回 岡林 澄子

平成23年度のしいの実会は11月11日、上本町六丁目「シェラトン都ホテル大阪」で開かれました。八十路を過ぎた私達は、幼い頃の面影をたどり、なつかしさと嬉しさで一杯でつきました。33名の大勢の方々が御出席下さいました。唯淋しかったのは恩師のお姿を拝する事が出来なかった事でした。

石禾節子(旧姓市原節子)さんの生シャンソン「枯葉」を聞かせて頂き、その後全員で「ふるさと」と「校歌」を学生の頃に帰って力一杯唄わせて頂きました。来年度も元気で亦たのしい一時を持てる様に、再会を約して会場を後にしました。

回生だより

高2回 多田 和子 (旧姓 木村)

私は今年80歳になりました。大阪友の会に入つて

51年になります。全国友の会は1930年ジャーナリストで、教育者の羽仁もと子が創刊した「婦人友友」の読者によって生まれた団体です。

私は新世帯の頃、家事を雑用としか考えられず、生涯の仕事として何を選ぶかと外にばかり目を向けていた時、全国友の会の一万一千人の主婦の創った家庭生活合理化展に出会いました。こんなにも家庭生活を大切に考えている主婦がいるのかと友の会に入りました。三人のこどもの手が離れた頃、会社経営に参加しなかつた就職の話。

私は答えを羽仁もと子著作集に求め「家庭経済の出发点と到着点」を読み迷わず友の会の中で生涯教育を受けようと決めました。

家計リーダーを引き受けたのは、1990年全国友の会創立60周年記念生活展「人のいのち」のものいのち「地球のいのち」をテーマに衣食住環境のことなど260枚のパネルに表しました。約二万人の入場者で、私達は近畿16友の会の水道使用量を照らし合わせ、節水に努めてきたこと、三川合流地から排水を処理しつつ、取水、飲み水となること、河川の汚れの7割が家庭排水の原因で汚染するのが台所排水であることも知り、排水チェックを千人が重ね、今私達に出ること「淀川を美しく」と環境問題に家族も共に取り組みました。この期間が私の人生の馳せ場であったと思います。

後にいのちの水を守るために私達が力を合わせて、これらの活動を続けてきたこと等がきっかけで、大阪友の会が環境大臣賞を頂きました。

水のことでは今外国資本による水源地の森林買収が進んで、大量取水も懸念されている状況です。私達の長年の節水、節電、CO削減等、家庭からの積極的な実践活動を認めて頂いて、水制度改革国民会議のNPOのメンバーに、大阪友の会の有志80人が協力させて頂きました。水制度基本法がこの国会に承認有力と新聞にも掲載されました。この法案が通り、子孫に安全な水を残す事が可能になることに希望を持って見守っています。

東日本震災の支援活動でNHKテレビ放送番組あさイチで、仮設住宅の押し入れ整理のお手伝いを相模友の会が、暖簾、スモックエプロン、座布団、鍋、帽子等を各地方の会が製作し、お届けしています。これらのことは一人の主婦では中々手が出せなかつたことです。清水谷22期生で百歳の山野敏子さんは大阪友の会の育ての親です。生活展のときには清水谷の校長先生をはじめ、事務局の方々に他の学校を紹介して頂き、清友会の方々の協力を頂きました。

団体の一人として小さな力でも、其の一員として出せることに感謝しています。

回生だより

高3回 飯田 弘一

今年には傘寿を迎えて10月16日(火)にウエスティンホテル大阪で同窓会総会を開きます。

一時は、今年が最後の同窓会になろうかと思われましたが、規模を小さくしても好みの人が集まる間はよろうじゃないかとの意見があり、幹事・会場不変で行われることになりそうです。10月16日は大勢集まって下さい。

また、毎月第二火曜日に午後5時から行っているサロン。ここ2月は10名を割つていくか、お昼なら集まりやすいかと、奇数月は12時開始で値も下げてとしても効果は少なく、元に戻っています。昨年12月の清友会公開セミナー、山田博利氏の「ソクラテスからゲゲまで」には、雨の中で数十名が集まったが、それとも「ケーキで茶の間」のような趣向には集まるかな。

かつては、旅行、ハイキング、音楽会、ゴルフ等計画され大勢が行ったのも数年前まで。それぞれ世話人が病に倒れ、今、高3回が集うのはサロンと年一回の同窓会のみ、清友会の総会等にも一桁。

今でも現職や音楽活動、ボランティア活動に励む方も居るものの、回生代表としては笑顔はない。それよりも、連絡したくても所在不明の友がかなりいる。お知恵拝借、ご連絡下さい。

高校時代の思い出

高4回 加地 章

70歳代も気が付いたらとつづく後半を過ぎ、80歳代が目の前に。何かに追われている様な毎日と思うのは私だけでしようか。

高校時代、当時一水会所属の松田忠一先生師事する美術部に入部し、人生の大切なこの時期にすっかり絵画の虜になり、授業中も教室の窓から戦後間もない未だ焼け野原の景色をA4ノート等に落書きで埋め尽くした。

50年以上経った今、当時の素直で若さに溢れたスケッチ集から編集して、絵の仲間にも勧められるままに生まれて初めて個展と相成った。2012年4月11日から10日間、心斎橋大丸前のギャラリーにて開かせて頂きました。

母校の同級生を中心に最近絵を通じて知り合った仲間が100人ほど来てくれました。

お陰さまで最近本職のサンプラザ調剤薬局グループを次世代の子供に任せ、10年程前から政経文化画人展という会に毎年出展し、絵仲間と愉しんでいます。

写真館開業

高5回 原田 慎三

何時の間にか同窓会の記念集合は私が撮るものと決まられてしまつていようだ。写真は道楽でやっていることだから快く引き受けるのが本来だが雨の日などは三脚ほか重い機材を掲げて行くのはこの歳になると些か辛い。それでも出来上がった写真を眺めるのは本当に楽しいと同窓会の帰りに仲間に話していたら、俺の葬式の時使う写真を撮ってくれと頼むのが出てきた。俺も俺もと申し込みが重なつたので出張サービスは面倒だから纏まって俺の家に来て貰う事にした。其れにしても葬式用写真撮影とは何か穏やかならず写真撮影に伴う晴れやかさも無く余り気乗りがしないので喜寿の記念撮影会と言うことにした。予想通り撮影会と言うより酒盛りの会になつたが無事撮影は終わった。それぞれの写真をA4サイズにプリントしてしみじみ眺めていると葬式用の写真を撮つてくれと言うのも無理からぬ歳になつたのだと納得した。さて自分自身の葬式写真はどうなっているのか。未だ余り気が進まない。何時も昼前にやってくる野良猫の写真を代わりに一枚撮つて置いた。



お陰さまで最近本職のサンプラザ調剤薬局グループを次世代の子供に任せ、10年程前から政経文化画人展という会に毎年出展し、絵仲間と愉しんでいます。

回生だより 2

回生便り

高6回 牧野 豊野
私共高6期生は、今年卒業後58年、77歳となりました。2年毎に高6同窓会を行っています。

来春「3月17日 正午」アウイナ大阪で予定しています。毎回7、80名の出席で、会員の中から講演などして頂いたりして楽しい会が続いています。

次回も一人でも多く参加して頂き、盛大に行いたいと願う準備に専念致しています。

案内状を12月に発送させていただきます。体調の都合等で参加出来ない方も返信にて参加して下さい。

「ぜひぜひのご参加を」幹事一同

清水谷10期会 回生便り

高10回 吉岡 道夫
平成20年大阪で卒業50周年記念同窓会、同21年京都での古稀の会に続き昨年10月に奈良の名門、奈良ホテルで同窓会を開催しました。当日は東京他遠方からの参加者十数名を含め総勢63名の同窓生が集まりました。ゲストにお招きした野谷先生のご挨拶、講演に続き懇親会に入り、奈良ホテルのフランス料理とお酒を頂きながら6時頃まで楽しく賑やかなひと

東期会の活動

高10回 岡本 和夫

関東在住の高10回生で構成する会「東期会」の昨年からの今年にかけて、一年間の活動を報告します。昨年は、清水谷110周年記念の年であり、これを

祝って、私達の懐かしい思い出の場所古都奈良で、2011年10月16日(日)に会場は由緒ある「奈良ホテル」で高10期会が開催されました。東期会からも10数名が参加し大盛況でした。2次会も参加予定人数をはるかに超える盛況で夜遅くまで話が尽きる事がありませんでした。翌日は、秋の奈良公園を日ごな散策し満喫しました。

翌週の10月22日(土)は恒例の東京支部総会が「銀座日航ホテル」で開催され、終了後のお茶タイムでは、再び先の奈良全体会合の余韻などを楽しみました。

例年、10月は大変忙しい月ですが、この年は支部総会からわずか4日後の10月26日から「夢科浪漫俱樂部」の収穫祭(芋煮会)が夢科農園にて開催されました。高10回生の関西の面々と高11回生の方々が参加され大いに盛り上がりました。大豊作のサツマイモ、ジャガイモ、里芋を掘り上げ、収穫したての里芋を入れた芋煮鍋や豪華な鮭のチャンチャン焼きを頂きました。

夢科の空気の美味しい自然の中で皆さんの食欲は旺盛で何時までも談笑が絶えませんでした。相変わらず語り合うことが好きな同期が72歳という年齢をも忘れ、広い畑を耕し「ああ疲れた」と言いながらも、夜遅くまで社会問題や経済を論じあえる元気な仲間がいる事は何よりの幸せだと思っています。年が明けて、今年の新年会は、やや遅めの2012

年2月3日、冬の庭園散策とセットで食事会場を駒込にある「女子栄養大学内、松柏亭」で開催しました。JR駒込駅近くには江戸の2大庭園の一つ「六義園」があり、2月にしては暖かい陽だまりに静かな冬の景色を楽しみました。この庭園は元禄8年(1695年)に柳沢吉保自ら設計して作り上げた「回遊式築山泉水庭園」で、文学的造詣の深さを反映した繊細で温かな日本庭園を、折しも蝨梅の香りと共にゆつたりと楽しみ、女子栄養大学へと向かいました。

この大学は「食は生命なり」と創始者香川綾が提唱し作られた大学で、その構内にある「松柏亭」はお客さんの年齢に応じた食事を調理して頂くことで知られており、私達は「ヘルシーコース」を選び、あっさりとした料理を楽しみました。

団欒の後、近くの旧古川庭園を訪れ、まだ別れがたくレトロ調喫茶店でもまたまたおしゃべりに興じたのでした。

春、4月には2年ぶりのハイキングを実施し、丹沢山系の一つ「大山」に登りました。険しい山でしたので、私達は平坦なコースを選び春の1日を新緑に囲まれ緑の風を堪能してきました。

会えるときに会いましょう。元気なうちに会いましょう。と、東期会みんなは行事に積極的に参加しています。

注) ブログ「夢科浪漫俱樂部」には、夢科農園での活動の他、東期会の活動(同窓会活動)を掲載しています。

ちよつと良い話

高10回 和田威智雄

橋田喜和、中内正典と私は50年、60年を越える「断金伐木の交わり」である。6月22日久しぶりで晚餐を共にすると、場所は上「の」とんぼである。夜の診察のある中内は少し遅れる。5時半頃に上二に着き、夏至すぎでまだ昼の続きという明るさにつられ、2人で清水谷高校の方へ歩きました。正門から校舎を眺め上げ、運動部員の坂道登り降りを見つめていた。横を通り過ぎ西門へと歩みを進めた。我々の頃は東門の所に体育館があったが、今は西門の所へ移っているんだな。バレーボール部の練習の声が聞こえてきた。在校中はバレー部のキャプテンだった橋田は、一入懐かしさを感じたみたいで、コートのある2階の方を見上げていた。いかに、入って見てみたい様子であったが、今は部外者。「許可なし」では入れない。瞬時、門外に佇んでいた。いや、橋田は半歩ほど入っていたかもしれない。

その時である！ユニホーム姿の学生が「こんにちは」と声をかけてくれた。我々はこの、オールド・オールドボーイである。50年以上前のことだがな。バレーボールの練習の声につ

い、つられて、ここにこうして居る。懐かしさでいっぱいである。然し、入って見るわけにはいかんだろうな。

その声の主はラグビー部とのこと。若者は気の毒そうなの困ったような顔をしていた。更にその時である!!校舎の方から坂道を西門の方へ歩いてくる女性が居る。若者は「先生」と言っていて、その人に我々の状況を説明してくれた。いいですよ私について来て下さい。下駄箱の所で靴を脱がねばならぬ。私は少し抵抗感があったが、一目散の橋田につられて靴下裸足で、女先生(壺井栄流言い直し)について行

体育館2階での数分間であったが、橋田は、青春時代・プレバック(歌の題名が掛けているのが、おわかりか)。女先生の説明によると、男子バレー部は現今休部中とのこと。「へエーそうなのか」と、今昔の感に堪えぬ様子。帰途の先生をあまり引張るわけにはいかず、これにて引き下がることに。

て、女の先生で英語の担当の人は何人居るか。3人です。ではその先生方に次々に当たって、6月22日、6時前、2人のおじいさんを体育館に案内したか。やがて、判明しました。箕嶋先生です。

あの時のおじいさんからだと粗品を渡してもらった。わざわざ有難うございます。次にラグビー部の若者である。食欲旺盛な頃で差し入れようか。然し顧問先生にまず意向を大樹君にたずねてもらった。お志有難うございます。夏のことですから、スポーツドリンクがよいと思います。

7月18日2時半に西門で待ち合わせ、大樹君から顧問先生に渡してもらった。この間の大樹の働きも並々ならぬものがあるので、彼がバスケット部に属しているところから、キャプテン立会いのもと、ここにも同じ差入れをした。

近頃の若い者は無愛想で、挨拶も満足にできぬとの老練の言どころか、あの若者の声かけから端を発して、次々に連鎖を起し、かくの如く我々に至福の一刻を用意してくれた。卒業後50年を過ぎてなお清水谷へ通っていた誇りがとても大きく甦ってきて、このちよつと良い話を皆に聞いてもらおうとの橋田の勧めに従って、中内より岩田三左さん、更に清友編集部へとつながっていったのである。

そんなでき事があって、時に私はあの若者とあの女先生の事を思い出させられるのである。そうだ、私の知人の子息大樹君が清水谷2年生に在籍していたのだ。その大樹君に連絡し

素敵な仲間

高11回 森 勉

昨年11月母校の110周年記念行事がNHK大阪ホールとホテルニューオータニ大阪であった。NHK広場で現役の生徒達の集合姿、特に女生徒の制服姿、あのセーラーカラーのなつかしさうれしきで目がうるんだ。(あれから50数年たったんだ) 仰げば尊し我が師の恩、先生方有り難うございます。校歌にある通り学びの庭に光りあれ学びの友に栄あれ！

高12回生同期会

高12回 杉野 利彦

昭和35年(1960年)卒業の私達は昨年9月23日に6回目の同期会を開催しました。総数は345名の内、出席者は82名、ホテルグランヴィア大阪で開催、幹事は各クラス2名で、代表はE組森本隆幸氏。司会はG組川口(新田)眞子さん。

高13回生同期会

高13回 日置 英一

本年我々は古希を迎えそのお祝いを兼ね同窓会を6月26日に開催しました。案内状発送にあたり私が驚いたのは物故者数に男性が多い事でした。なるほどこんな所にも平均寿命が現れているのだと妙な所を感じました。

晴らしい仲間と一回でも多く逢おう)最近になって仲の良かった方達と食事会や誕生会と少人数だが集まって顔を合わせた、楽しい時間はすぐ過ぎる、貴重な一瞬だが鮮明に記憶に残る。又逢える日まで元気にいよう生きる力がみなぎってくる。老いなき秘訣はこの原点にある！素敵な仲間達皆集まれ。高11回生。元氣爆発させよう。

いつも写真撮影を担当してくれていたB組松原司氏が今年3月に急逝されています。亡くなった方々が増えていますが、私達は幸いに古稀を祝い終えました。掛け替えのない高校時代の友人達とまた会いましょう。追伸「清田会」は毎年有ります。ぜひご参加下さい。



存されています。2本のケヤキが数百年生けし重要文化財に指定されています。変なもの指定されているなど思いながら散策すると気のせいか荘厳さが感じられ鴨川のせせらぎに癒されました。久しぶりの再会に喜び合う姿があちこちで見られました。宴会が始まると学生時代にタイムスリップし賑やかな声が随所で聞こえました。全く70歳の老人ではなく18歳の若者です。時間の経つのが早くアツという間に宴会は終わりました。宴会終了後は2次会飲み直し組と銀閣寺説明会組とに分かれ各々時間を過ごしました。

第26回清朋会

高14回 西尾美智恵

今年も例年の如く天王寺都ホテルで開催。「黙禱」司会者A組の牧野さんの声で静かに流れる校歌に寄せて恩師と早逝された友の冥福を祈り始めました。卒業より50年の年月が流れ清朋会も会員の皆様の御

協力により今日まで回を重ねる事が出来ました。発足当初より学年代表と清朋会の会長を務めて下さっているのがC組の三好国三郎さんです。野球部のキャプテンで夏の大会では準々決勝で強豪のPL学園と互角に戦った名三塁手でした。日生球場で「カッセカッセ三好」と応援に声をからした事も懐かしい思い出です。C組の山本洋さんは「50年振りには皆さんに会いたくて」と初参加の挨拶、料理に凝って「おやじの厨房」の主権をされています。その生徒の一人がC組堀本光昭さん10年振り二度目の参加です。A組の松井英樹さんは大型船舶の発動機を手掛けておられる会社役員で20年振りの参加。E組の沖本(坂本)礼子さんも随分お会いしてないのに少しもお変わりなく、高齢者向けの食事サービスのボランティアをなさっています。時を経て見目形は変わっても各校精神は不変です。昨年母校は創立110周年を迎え、我が清朋会から10万円を寄付させて頂きました。御協力感謝申し上げます。

高20回同窓会のご案内

高20回 塩見 一仁

「還暦同窓会」から早3年が経ちました。少しサイクルを短めに、というご要望にこたえて、この秋に同窓会を開催します。是非とも大勢の方の参加を得て、互

いに旧交を温めましょう。●日時 平成24年11月23日(金曜) 祝日 午後2時〜5時 ●会場 新大阪ワシントンホテル プラザ

なお詳細については、お手元に届く案内状をご覧下さい。皆さんとお会い出来るのを楽しみにしています。お問い合わせ、ご連絡事項があれば、左記までお願いします。 水間頼孝法律事務所 電話06・6364・6185 FAX06・6364・6195

生駒先生 さようなら

高21回 北崎 茂樹

さる5月はじめ、学年代表の熊くんから連絡を受けた。出来の悪い我ら21期生を、入学から卒業まで面倒をみていただき、また卒業後も我々が還暦を過ぎるまで、お付き合いくださった生駒(旧姓 妹尾)先生がお亡くなりになられたのだ。それも3月のはじめころに亡くなったらしいという、暖味な連絡だった。私は高3の時の担任を持つていただいた。3年C組だった。教室はどこだったか、今となってはつきりと思ひ出せない。先生の思い出を清友会機関誌に書いてほしいとの申し出を受けたが、さていざ書こうと思うと、なかなか先生と過ごした青春の思い出がよみがえってこない。記憶の断片をたどりながら、

キーを打っている。いくつかのエピソードを紹介しよう。担任として先生は、清水谷が女学校であった頃の話の時々して下さった。廊下の掃除は5人一組で裸足のままで端から端まで一斉に雑巾がけをしたことや、時の総理大臣、東条英機首相が講堂で演説をされたとか、云々。この話は、その後、岡竹先生の収集整理になる写真を見せられてもって、実感が湧いた。また、たしか物理の授業で、何かの公式か定理を説明されていた時のことである。黒板に向かって図かグラフを書いて説明されていたのだが、誰かが意地悪く質問したことに對して、先生は真摯に受け止められ、急に考え込まれてしまった。授業は中断、しかし誰も立ち歩いたり出で行ったりするものは無く、静かに先生の動向を見守った。しばらくして先生は説明を始めたが、結局質問に対する答えには至らず、その場はみんな消化不良のまま終業のベルを迎えた。その後、先生は解答を提示されたはずであるが、理解力の乏しい私にはあまり記憶に残っていない。3学期の寒い時期の化学の実験の時のことである。先生は、様々な物質の実物を生徒達に見せたいと思われたいらしく、準備室から出して来られた幾つかの物体が机上にならんで置かれていた。その中から、ナトリウムという物質の性質を説明されながら、ガラスビン

回生だより 3

の油の中のナトリウム片をピンセットでつまんで時計皿の上に載せられた。

空気が水と反応すると酸化して激しく燃えるという説明の後、ナトリウム片が急に燃えだした。予想以上に激しく燃えた。さすがの先生もこれで危険と判断されたのか、急に取り乱してしまわれた。消防車を呼ぶほどではなかったが、一瞬実験台は大きな炎に包まれた。すぐに炎は鎮火したが、この時の先生と生徒達の驚きは尋常ではなかった。どれくらい大きき塊を取り出せば、どれくらいの炎が上がるかという予備実験がされていなかったのかも知れないと思った。

卒業間近になって、大学進学を決める相談があった。自分は成績は後回しにして、とにかく理科系に進むと決めていた。しかし、成績の方はそれを保証できるものではなかった。先生はそれまでも赤点を下駄をはかせるような形で支えて下さっていたが、現実を見ない生徒のために、新しく開校する大学の経済学部を推薦を受けてみないかと勧められた。私はまったく受ける気がしなかったが、強く勧められたので断ることが出来ず、推薦状をもらってその大学まで書類を出しに行った。結局は2浪することになってしまったが、大学生になってから先生のおられる職員室に挨拶

に行ったら、時々顔をみせに来なさいよと、優しい言葉を掛けていただいた。教育実習で清水谷にお世話になったことも。その後、障害児教育の世界に入った時は、先生は家裁の相談員をされていた。私の職業にも理解と並々ならぬ応援を惜しまれなかった。

還暦の同窓会を開いた際には、元気なお姿を拝見し、第2回「にぎわい作品展」の予告をしたら、即答で「私も紅型染めの作品を出します」とおっしゃっていただきました。春に予定していた作品展が秋になり、先生に連絡をとりご自宅まで伺ってたくさんある紅型の作品の中から、先生と一緒に作品を選びました。作品展当日は、紅型教室のお仲間お二人と一緒に参加下さった。その時は杖で体を支えながら、手すりにもつかまわって階段を降りて行かれた。その後ろ姿は今も脳裏に焼き付いている。作品を返却に伺った時は、いろいろな本をもらってほしいとおっしゃるのを見ていただいていた。それらは先生が若いころに自分で読むために購入されたであろう文学全集やその他であった。一度も目を通していないものもあると言われた。しかし、この私が見てももはや読書に耐えうる文字の大きさではなかった。丁寧に断りして、なんならブックオフにでも運びましょうか?と言った言葉が、

先生とのやり取りの最後と

なりました。亡くなられる前に、同じ旧3-Cの徳野君から、生駒先生の新任時代の写真を見せてもらった。澆刺としたまきに清水谷高女の姿がそこには写っていた。

合掌

「とりあえず 歩こう!」

高22回 小川 佳秀

今年、倫敦五輪の年、我々高22回も4年に一度の学年同窓会開催年。11月3日に還暦記念倫敦五輪同窓会を実施予定。還暦ということでは健康テーマ「歩く」についての話題を一つ。人はなぜ歩く?道があるから・足があるから・ボケ防止。全て正解。

現代人は歩かなくなった。会社員は平均1日5千7百歩、江戸時代の御店の主人は1日1万歩、庶民は平均3万歩。1日1万歩で肥満を防げる。歩く事で体も脳もグングン若返る。人間の足と脳は直結。2本足で歩く、だから4足歩行のサルより脳が進化。歩くことは健康法の王様。歩くことは脂肪がよく燃えて痩せられる。間違ったダイエットが肥満体質をつくる。カロリーの摂取を減らせる。脳はギリギリの部分で生命維持をはかろうとするので、脳は「飢餓がきた」と勘違い。少ないカロリーで生き延びようと自らの体質を変える。エネルギーを多く消費す

る筋肉は、生命維持の為に少しのカロリーでも脂肪として蓄えようとするので肥満体質が出来上がる。また、歩くことと癌の予防も期待できる。慣れたら40分ぐらいいは歩きたい。体脂肪の燃焼率は30分過ぎから大きくなる。30分以上続けて歩く、その分だけ体脂肪が多く消費される。ゆ

っくりでも連続して歩くことが重要。慣れるまで10〜15分からは始めると良い。出来れば毎日43分は歩きたい。週に3日でも続けて。参考：大島清(歩くとなぜいいか?)

「五十五にして 母校の教壇に立つ!」

高26回 大本 陽子 (旧姓 村田)

子曰く「五十にして天命を知る」とか。それほど大上段に構えたわけではなかったが、齢50にして行き来し年月を振り返り、わずかな単位不足で取り損ねた教職資格に再挑戦したいと思

生活が始まった。そして通算5年、資格取得も目前という頃、それには大きな問題が立ちはたかる。そう、母校での実習を経なくては教職の資格は取得できないのだ。匂い立つような初々しい、62回生に混じって26回生が教生として行くことに躊躇がな

かったと言えは嘘になる。受け入れて下さった先生方のそれはもっと大きかったに違いない。しかし、流石は自由闊達、絆の大切さを尊ぶ我が母校、遙か昔の

りでもない卒業生を教生として温かく受け入れて下さった。校長先生、教頭先生をはじめ、ご担当頂いた山田、中川両先生、そして誰よりも生徒達のお陰で、無事資格取得が成った事をご報告出来る事は無上の喜びである。

これを機に20年目となる社長業からは半ば引退し、壮成塾と命名し小さな塾を始めた。天命かどうかは未だ力不足のため不明だが、残された人生を、次代を担う子供達の指導に関わることができた。これも偏に皆様の温かい眼差しと協力のおかげで、この場をお借りして心からお礼申し上げます。有り難うございました。

「大升朗画伯 回想展」

高34回 橋本 一志

平成24年6月9日 済美館2階をお借りして、「大升朗画伯回想展」を34期生の有志の皆さん、御家族の御協力のもと盛大に開催させて頂きました。

大升朗君は34期同窓生ですが、平成23年6月25日、急逝されました。



よく知る多数の有志により、題字揮毫、当日スタッフの手配、生け花による会場設営、案内状作成、記録等々、開催準備が順調に進みました。有志の皆さんの協力により当初のイメージをはるかに超えるとてもすばらしい展示会が開催できました。当日は、大升君の友人知人は勿論、奇遇にも学校説明会の日程と重なった為清水谷入学を夢見る中学生とその親御さんも済美館へ多数足を運んで下さいました。

また、校長先生、教員の皆様、済美館へお越しになつていた諸先輩の皆様も回想展に来場頂き、ピーク時には、人であふれていました。

34期生は、平成18年に全体同窓会を開催し24年振りの再会を果たしていただきました。大升君とも同窓会をきっかけに交流が再開し、あこから、と思つていた矢先、突然病に倒れ亡くなられました。生前、彼が素晴らしい絵をたくさん書き残していた事を知る友人が、「亡くなるまで一年になるから、彼の絵を展示して回想展やらなにか」、この一言が今回の回想展開催のきっかけとなりました。大升君の人柄を

最後に今回の回想展開催にあたり、済美館を快くお貸し頂いた同窓友会の諸先輩の皆様にご心から感謝を申し上げ、34期回生便りとして頂きます。

集う…楽しむ…

同窓生

俳句講座(清友会でまり会)

平成24年5月句会入選句より

大橋敦子選

橋に佇む水都なには初夏の風
よき晴れの日なり病衣も更へむかな
薔薇アチ潜り始まる披露宴
葉桜の日の斑を美しと礎のぼる
白珠のいよよ艶めく大山蓮華
華やぎを尽くして牡丹散り初むる
食材の溢るる季節五月来る
すんなりと子は草笛を鳴らしたる
新緑の湧き上がりゆく嵯峨野緑
ありなしの風に領き桜散る
一服を賜る茶室風薫る
籐の藤初しみどりの日

米寿なる誕生日とてカーネーション
母の日の母へ献じてばらの紅

大橋 敦子
井田 幸子
片岡 良子
金森 信子
栗谷 嘉野
寺井 久子
西山加代子
本多 正子
松本千恵子
間宮 和子
宮崎 良
芳井 貞子
大橋 敦子

謡曲講座へのお誘い

世話係 本44回 井上道子

清友会110周年を記念し改修していただいた済美館の新しい明るい二階の部屋で、謡曲教室が開かれます。今年2月より15回生の笹谷汎子様も、ご入会下さり、和気あいあいの雰囲気、月2回のお稽古を楽しんでおられます。

紅型教室

本44回 瀧本 俊恵

紅型教室が始まって28年になります。25周年には心齋橋の小丸に於て展示会を盛大に催しました。その後記念にと横75cm縦175cmの大作に全員半年以上かけて製作致しました。5月25日には、京都文化博物館に開催されたいた芹沢銈介展に(型染)人間国宝勉強会に行つて参りました。鮮やかな色彩と深い精神性をそなえた作品に酔い乍ら帰宅しました。今では最初の糊置きからすべての工程を全部

清友コーラス部

本43回 岡本 和子

2001年、母校創立百周年記念事業の一つとして結成された清友コーラス部は、指揮 高13回湯浅富士郎先生、ピアノ伴奏、高31回中村佳代子先生をお迎えして、男女あわせて約50名、毎年6月に開催される大全体清水谷の卒業生です。阪府主催の合唱祭には39回より参加。今年10年連続出場表彰を受けました。2009年には創刊10周年を記念していずみホー

切に望んでおります。なお、仕舞の部も開設して、清友会会員の美しい舞の姿が、披露できましたら、どんなにか嬉しいことでしょうか。ご希望者を募ります。

ぜひ皆様、一度ご見学に来ていただいでご参会下さいませ。ご希望を申し上げます。

紫陽花の美しい日に一同心よりお待ちいたして居ります。

お茶を楽しみ何時迄続けられるかしらと話し合っています。

3月に急逝された生駒さんと清友会のお陰と感謝して居ります。森田先生と何時迄も元気で頑張りたく願つて居ります。

出来る様になり思い思いの作品を手掛けて居ります。お亡くなりになった方々、病気で来られなくなった方々、転宅された方達があり、今では9人になりましたが、

昨年11月6日、NHK大阪ホールで開催された母校創立110周年記念式典に於いては、大地讃頌、ハレルヤを合唱。そして高56回酒井麻由佳さん作曲、高64回山本大貴さん作詞の創立110周年記念歌「かわらない心」を在校生と合唱致しました。若々しい在校生の皆さんと同じ学び舎を共にした平均年齢70歳という私達が、喜びを共にうたう事ができるのもコーラス部あってこそと胸に迫るものがございました。

私達は新装になった済美館3階で、月3回土曜午後2時から2時間、練習しております。先生方を始め、青春の一時期を同じ学び舎で過ごした者許り遠慮のない会話も飛び交い、笑いの絶えない楽しい一時です。この午後の一ときで1週間の元気をもらおうという方もいらつしやいます。お若い方々も月に一度でも練習に参加して頂いて、この楽しいコーラス部が、卒業生の憩いの場として末長く続いてほしいと願つております。

すと、どの様に描くのかしら？ではなく、どの様に調理をすると美味しいのかな？と、早や夕食の献立の食材として考え込んでいます。と、お料理上手な先輩が筆を止めて、気の利いた調理法を伝授して下さいたり、お花の題材のときは育て方を教わったりで、絵を習いながら色んな知識が身に付き、毎回タメになるネタを仕入れさせて頂いておられます。新参者の私にとつて優しい先輩達に囲まれて癒しの場となり、二週間に一度、学生時代に心を馳せ、正門から四季折々の桜や柿の木を眺めながら、凛とたたくずむ済美館に向かう時、恥ずかしながら、セーラー服の少女に還つたような気分、本当に侍せ感じっぱいになります。毎回、下手ながらも描き上げた絵を部屋に飾つては、季節の移ろいなど感じ、素晴らしい先生や先輩のご縁に感謝し、清水谷高校のお仲間居られることに、しみじみ有難く思う次第です。

源氏物語読書会

高10回 奥野 啓子

同期会で野谷先生が講師で源氏物語の読書会が始まるとお聞きして参加することにしました。

テキストは岩波文庫の山岸徳平校註の源氏物語。この本は主語が() 記入されているので理解しやすい。予習として先生からは必ず音読するようにと言われて

いる。読書会当日はテキストは直接使用せず、馬場あき子の掌編源氏物語を先生がコピーして下さったのを頂いて輪読する。美しい

文化講座ご案内

入会随時 場所：済美館

俳句

第二火曜日 午後2時～4時
指導 大橋敦子姉(本39回)
俳誌『雨月』主宰
会費 1ヵ月 2,000円

謡曲

第一、第三月曜日 午後1時～4時
指導 齊藤信隆氏
観世流準職分
重要無形文化財総合指定保持者
会費 1ヵ月 4,200円

編物

第一、第三月曜日 正午12時～4時
指導 辻志津子姉(高3回)
会費 1ヵ月 4,000円
6号又は8号棒針及鍵針持参のこと

紅型染

第二、第四火曜日 午前10時～4時
指導 森田良子姉(本44回)
会費 1ヵ月 3,000円と材料費

コーラス

第一、第二、第三土曜日 午後2時～4時
指導 湯浅富士郎兄(高13回)
会費 1回 1,000円

毛筆画

第二、第四金曜日 午後1時半～4時
指導 樋上千哲兄(高7回)
染色造形家・京都工芸美術作家協会理事
会費 1ヵ月 6,000円

源氏物語を読む

第二、第四金曜日 午後1時半～3時
講師 野谷 士氏
会費 1ヵ月 4,000円
テキスト 岩波書店・山岸徳平著
「源氏物語」

毛筆画教室「彩葉会」

高15回 作田 壽子

毛筆画ってどんなのかな？と好奇心だけで、何の予備知識もなく、三年前の新年互礼会で「染色造形家」の樋上千哲先生と出会い、入会させて頂きました。京都在住の先生がお稽古の朝、錦市場で珍しいお野菜や魚貝など題材に仕入れて下さるのですが、美しい色のお野菜など眼前で眺めていま

クラブ代表会だより

クラブ代表者会は平成17年4月の同窓清友会設立時では？と思って詰まることも度々。日本の古典は音読が基本だと改めて感じさせられる。

絵入りなので場面の雰囲気を感じることが出来る。原文を読むのはスラスラとは読み難いし、先生からは「弁慶がな、ぎなたをふ〜」にならないようにと言われている。黙読ではちゃんと読めても、音読では？と思って詰まることも度々。日本の古典は音読が基本だと改めて感じさせられる。

一区切らず輪読の後先生が解釈して下さい。比較文学の専門家である先生のお話はシェイクスピア、漱石、寅彦と幅広い内容で、読書量の少ない私については「(それ何?)」と思うこともあるが聞いていて楽しい。源氏関連の書籍を紹介して下さいることもあり、私は興味のある分野のものは購入して楽しんでる。

残念なのは折角の良い読書会なのに受講生が少ないこと。関心のおありの方は是非ご参加をお勧めします。

川柳

本39回 安藤寿美子

- ・末法の世の新聞をたたみけり
- ・阪神が負けたと風呂へ言いに来る
- ・駅から五分我が家の取柄をそれ一つ
- ・旧友とひよっこり出会う花の雨
- ・ひとり酒涙ふいても月おぼろ

高6回 藤井 則彦

- ・野良猫の宿が気になる雪の夜
- ・何をしに二階へ来たか又降りる
- ・孫の描く似顔絵髪が足してあり
- ・人の名を思い出せずにアイウエオ
- ・日食の夢を見ていて朝寝坊

クラブ代表者会は平成17年4月の同窓清友会設立時に清友会をより活性化・充実させるために発足しました。

運動・文化クラブのOB・OG会の代表者がOB会を盛り上げるために、年に4〜5回会合を重ねております。現在OB・OG会がないところや活動・機能が落ちていないクラブに対して復活 活性化を図るために、クラブ代表会並びに清友会とは協力、ご支援を惜しみません。清友会事務局までお気軽にご連絡、相談ください。

現在の参加クラブは【運動部】陸上競技、硬式テニス、軟式テニス、硬式野球、軟式野球、バレーボール、バスケットボール、サッカー、ラグビー、器械体操、水泳。【文化部】コーラス、アンサー

クラブ代表会 議長 高28回 橋谷 吉郎

今年10月14日(日)に「第8回・フエスタ清友」が開催されます。清友会の秋の恒例行事として皆様のご支援、ご協力を元に定着してきましたこと、この誌面を借りて御礼申し上げます。今年の1部の催し物として落語研究部がプロの落語家として大活躍されておられるOBの落語、その他清水谷高校クイズ等を考案中です。また「合唱歌OGと一緒に歌いましょう!」と題しまして高29回のOG

方の皆様と共に歌を合唱します。それから、毎日放送の「ちんぷいぷい」という番組で放映された、たむらけんじが紹介する清水谷高校のVTRも映します。午前中も「スポーツフエスタ」として体育館等でお遊び感覚でスポーツをして身体を動かすこともできます。2部は清水谷高校北側にあります「かごの屋」で懇親会をします。

「フエスタ清友」をOB・OG会がないクラブは代わりにして活用していただき、集まるきっかけにしてみたい。また、年一回の母校のホームカミングデーとして清友会を大いに盛り上げたいと思っております。皆様お誘い合わせの上、ぜひ清水谷高校へお気軽にお越しください。

陸上競技部OB・OG会

高10回 坂本 孝信

●昨年、初参加を予定した大阪城リレーマラソンは3月11日の東日本大震災の為に中止となり、本年3月20日が、現役陸上部とOB・OG会混成チームにとって2度目の初挑戦となりました。現役生44名、OB・OG会6名が5チームを編成しました。この大会には360チームが参加し、賑やかな応援が繰り広げられました。清水谷チームは10位以内に入健闘ぶりを見せました。

●5月4日(みどりの日)は、現役生の試合応援を兼ね、OB・OG会有志が集うことを呼びかけた日で、大阪インターハイ地区予選が行われた長居競技場に行きました。清水谷陸上部OB・OG会メンバーと現役生との3世代にわたって陸上競技で引き継がれた西尾さん一家も集い、3年生の西尾君の好走もあって応援もひととき盛り上がりました。

また、9月1日(土)の3学区公立高校大会にも有志が集まりました。

●恒例のフエスタ清友は10月14日(日)に母校で開催されます。この日、陸上部OB・OG会の懇談会を11時から、済美館で行います。気軽にご参加下さい。

●また、年末12月8日(土)は第3回陸上部OB・OG会総会をアークホテル大阪で開催します。詳しくは後日連絡しますので万障お繰り合わせの上ご参加願います。

サッカー部OB会



高28回 橋谷 吉郎

清水谷高校サッカー部OB会は今年で創部65年を迎えます。今年11月23日に行われますOB総会は第26回を数えます。「継続は力なり」というスローガンをもとに北野会長をはじめ、OBの方、現役生と共に母校に集まり、対抗戦や現役生の支援として寄贈式を行い、その後懇親会はアークホテルに移り歴代顧問先生も出席され、親睦交流を深めております。

前回は1部で母校に33名のOBが集まり、現役生と対抗戦やOB同士の交流戦をして盛り上がりました。2部ではホテルに25名が出席され、近況報告など楽しいひと時を過ごしました。この総会には全OB440数名に案内を郵送しております。もし届いてないようでしたら、下記の連絡先までご連絡ください。近年若いOBの出席が芳しくありません。11月23日は母校でサッカーをし、その後ホテルの懇親会に出席していただきたいと思います。

OB会のチームとして「OSクラブ」があり40数年の歴史を誇ります。現在新スポーツ連盟大阪府サッカー協議会の40歳以上のリーグで年間30試合程しております。また今年で2回目の開催ですが1月3日には住吉高校と新年初戦としてJグリーン堺で現役生同士を含め、OBの対抗戦もして、交流が深まっていることに喜びを感じております。その住吉高校の若いOBがチームを作って充実した活動をしていると聞きました。わが清水谷高校も若いOBによるチームができることを願っております。最高齢のOBは18期の北野氏、20期の津下氏が現役でプレーされています。卒業して50年近くもサッカーが出来る素晴らしい若者がOBにも味わって頂きたい。新チームを作ってやってみませんか? OB会として協力は惜しみません。

今後とも11月23日のOB総会に参加していただき、OB会の充実、発展にご協力をお願いします。また、10月14日には「第8回フエスタ清友」が行われます。こちらにもサッカー部OBとしてぜひご参加ください。連絡先 stufcclub@gol.com 清水谷高校サッカー部OB会 SOSクラブ <http://homepage2.nifty.com/shimizudanisoccerob/> <http://blog.livedoor.jp/socclub/>

落語研究部OB・OG会

高23回 今津 武治 (高座名 清笑亭 鱈)

現在、現役の落語研究部

は入部者が途絶えて休部となっており寂しい限りですが、清笑亭一門OB・OGたちは、何とか連絡を取り合い毎年12月30日に恒例の忘年会を大阪周辺で継続的に開催しています。また、「フエスタ清友」では、毎回落語の披露と併せて互いの絆を深めています。

高23期の落研はちょうど同好会からクラブに昇格した時期で、旧学舎の部室には小さいながらも畳敷きの舞台があり、よくベッド代わりになっていたことも懐かしい思い出です。

文化祭の時には講堂で文化系クラブの発表があり、演劇部やコーラス部などの他のクラブと一緒に落研もプログラムの中に入り落語を披露していました。また、それとは別に体育館に舞台を作り、客席には畳敷いて独自に寄席も開いていました。メインの講堂での各発表に劣らず客が入っていたと思います。そういえば体育館の下には学生食堂があり、当時は定食が60円、きつねうどんが30円で10円足すと天ぷらが付き、いつも100円玉を握りしめて学食に一番乗りしていたことを思い出しました。

とりとめもないことを書いてきましたが、今後の現役落語研究部の復活を願い、加えて清水谷高校各クラブOB・OGの回生の絆を超えた幅広い絆が広がることを祈りつつ、この辺で時間をとりました。デンデン…。

在校生支援基金(仮称)の創設と募金のお願い

昨2011年(平成23年)は、旧制「大阪府立清水谷高等女学校」が現校地で開校した1901年(明治34年)から数え110年にあたることから、高校、PTA、清友会が三位一体となって、創立110周年記念事業をすすめ、記念式典を盛大に祝うことができましたことは、母校同窓会として大いなる慶びでした。

現「大阪府立清水谷高等学校」は1948年(昭和23年)4月、旧制の高津中学から男子生徒・教職員を迎え、新制の高校として出発したものです。我が国屈指の女子高等教育機関としての清水谷高女の伝統を引き継ぎ、その後も進学校としての多くの実績を残しております。

この間の進学状況を下表に示しました。この表で明らかかなように、新制高校発足当初とその後を比べると、難関大学への進学状況は徐々に低下したものの、直近2012年の実績では緩やかな回復が見られ、上昇気流に乗る兆しが現れています。これは、教職員の方々の並々ならぬご指導のお陰と、同窓会として深く感謝しております。

ご存じのように、再来年春2014(平成26年)年度の高校入試から大阪府下の公立高校の学区が廃止されます。これを機会に多数の熱意ある優秀な中学生の入学が見込まれる一方で、生徒獲得の熾烈な競争が始まっています。進学校や伝統校といえども安住できません。そのため今のうちに母校のプレステージをできるだけ高めておくことが望まれます。

清友会としての在校生への学習支援として、テスト会、各種講演会、講習会を清友会の財政的支援のもとに進める予定にしております。しかし財政的支援はまだまだ不十分であり、府立高校への公費支出、清友会の財政支出も十分ではありません。

このような状況から、清友会として在校生支援基金(仮称)を創設し、財政的な面から母校在校生の進路選択を支援することになりました。ここに、清友会の皆様方からのご芳志を切にお願いする次第です。

ご芳志は下記口座にお振込み下さい。できましたら1口5,000円以上をお願いします。

三菱東京UFJ銀行 谷町支店 【普通預金 3510939】 同窓清友会 会計日根野文三
三井住友銀行 難波支店 【普通預金 6992035】 同窓清友会 伊藤恵美子

お名前の前に卒業年度をご記入、もしくは入力してください。

ご芳志をお寄せ頂いた方の回生、お名前、金額は会報に掲載いたします。

卒業年	期	卒業生数	国公立大学						私立大学				
			東京大	京大	大阪大	神戸大	奈女大	大市大	大府大	関西大	関学大	同大	立大
1952(昭27)年	4	305	2	11	11	9	3	11	10	11	13	8	
1962(昭37)年	14	347		9	11	14	2	17	12	13	52	51	32
1972(昭47)年	24	378	2	2	4	11	1	16	6	77	74	60	57
1982(昭57)年	34	370		3	5	7		14	17	115	40	52	53
1992(平4)年	44	378			1	3		8	3	68	25	21	39
2002(平14)年	54	279			1	2		3	3	43	22	13	17
2012(平24)年	64	279			2	2	1	10	5	134	39	48	56

(私立大学の合格者数は延べ人数)

回生代表会だより

清水谷ファミリィ拡大の好機!

回生代表会 議長
高40回 立川 優

みなさん!今年と同窓会(11月)も開催、同窓会、回生会を聞く絶好の機会です!回生代表アンケートによると、開催のコツは「4年ごと、五輪の年に開く」です。

理由も簡単「覚えやすく忘れ難い」。まずはクラス幹事を始め、幹事団を結成しましょう。連絡先不明者は校友会事務局に尋ねましょう。あの少年少女のころの気持ちに戻り、気のおけない仲間と楽しむ!清水谷を選んで良かったと思う瞬間!他校では味わえぬ感動です。

ただ、卒業年次によっては同窓会の機会の少ない会員もいます。そこで回生代表会では働く世代も参加しやすいように、同業種交流会のような「横断づくり」も考えています。アイデアをお寄せください。

アイデアをお寄せください。回生代表を始め、みなさまのお陰で110周年記念行事の数々が晴れやかに行われ、清友会も78年前の文部省認可の社団法人から小回りの利く組織に移行しました。これらの変革を待っていたかのよう

に来春・平成25(2013)年、入試制度が変わり、翌春・平成26(2014)年には学区も撤廃されます。競争も激化し、名門校と言えども安心で

回生代表会のアドレスは、shimizudani@live.jp
電話は050・3695・5655。

前回の旅行記

「パリ」と「イル・ド・フランス」旅行記

高8回 江口 善之



平成23年度の海外旅行はパリとシャルトルやヴェルサイユでした。

まずシャルトルで一泊後ロマネスク、ゴシックの大聖堂を訪れ、入口の彫刻を鑑賞後堂内に入りました。うす暗い聖堂内の窓は五彩に輝くステンドグラスで、まるで天国にいるかのようでした。次にヴェルサイユ宮殿を訪れたのですが、公開されている一部を巡るだけでつかれるほどの広さでしたが、特に「鏡の間」は広大で当時としては貴重な鏡でおわれ天井にはシャンデリアがいくつも輝いていました。

その後パリに入り、翌日は団体でルーブル美術館を見学しましたが「モナ・リザ」や「ミロのヴィーナス」などの展示物のさわりを見る程度でした。後は各自のスケジュールに従って連日パリの美術館や名所を巡るようになりました。

今回は、自由日を多くとった旅でしたがパリ市内の移動には地下鉄を自由に使えるという利点があったので楽しめた旅でした。

平成25年度旅行計画

プサン、慶州、ソウルの世界遺産の寺院や古墳、博物館など



韓国は中国と並んで、昔から日本と関係が深く、文化や芸術の面では飛鳥時代の寺院や仏像、桃山時代の陶磁器にそれをみることが出来ます。

平成25年度の海外旅行はプサン、慶州、ソウルの世界遺産の寺院や古墳、博物館などを専用バスや列車で巡ります。奮ってご参加下さい。

記

- 1. 日程 平成25年5月23日～26日
- 2. 費用 ¥88,000(サーチャージ等込み)
- 3. 宿泊地
 - プサン(ノボテル・アンバサダー・プサン)
 - 慶州(キョンジュ・ヒルトン)
 - ソウル(コリアナ・ホテル)

清友幼稚園だより

学校法人清友学園 清友幼稚園 園長 森悦子(高22回)



清友幼稚園は今年で創設66年を迎えます。先輩たちが残してくれた素晴らしい幼稚園で前任者向井容子さんの後、今年から園長に就任させていただきました。高校の同窓会が運営している全国でも数少ない幼稚園のひとつである清友幼稚園は、清水谷高校の校風や、らしさが、幼稚園の雰囲気にも醸し出されています。今年度は3歳児82名、4歳児3名、5歳児1名の新入園児を迎え、全279名の園児が、毎日楽しい園生活を送っています。

まず、園児の朝の様子を紹介します。毎朝、午前8時の開門前にはすでに何人かの保護者が園児を連れて、門の前で待っています。次々と登園してくる園児たちは、先生たちを迎えられ、教室に入り、自分でそれぞれ朝の準備をします。リュックは各自のロッカーに入れ、水筒は水筒置き場に置くのです。水筒の紐が他の子どもたちの水筒の紐ともつれないよう、水筒をくるくる回して、紐を水筒にしつかり巻きつけて置くことも忘れません。そして、お天気なら、ひろい園庭(府下屈指の広さ)に飛び出て、かけっこをしたり、砂場で遊んだり、一輪車の練習をしたり、おもいっきりお友達と遊びます。

午前8時45分になると、音楽が流れ、全園児は園庭にクラスごとに整列して、音楽に合わせて朝のオリジナル体操を始め

ます。その後、それぞれのクラスにもどり、お絵描きやお歌をうたったり、ゲームをしたり、設定保育の授業を受けるのです。自由遊びも織り込みながら、先生は子どもたちに、お友達や先生と関わる楽しさ、規律を守って気持ちよく過ごすこと、相手の話をよく聞くこと、思いやりを持つことなど、社会生活を送る上で必要なことをすこしずつ身につかせていきます。清友幼稚園のよき伝統を引き継ぎながら、生きる力のもとになる園児のからだづくり、こころづくりの支援ができるよう教職員一丸となって頑張っていきたいと思えます。どうぞ同窓のみなさまの一層のご支援を賜りますようお願いいたします。



ご寄付いただいた方々

- 二宮 秀造様
 - (大阪天満橋グラーブ) 会長
 - 10,000円
 - 久米 俊之様(元 校長)
 - 10,000円
 - 堺 紀久子様(高11回)
 - 30,000円
- ご厚意に深く御礼申し上げます。

平成24年度

先生方の人事異動

- 着任
 - 事務長 木村 正憲
 - (中央府税事務所より)
- 離任
 - 事務長 大井 武司
 - (退職)

計報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

生駒 節子先生(物理)

平成24年2月27日ご逝去



平成23年度会報訂正
回生だより(P12)本43回栗坂照子さんの記事で、「笑顔が頂けました」とあるのは「笑顔が弾けました」。「清水谷会員」とあるのは「清水谷会会員」の誤りでした。ご迷惑をおかけ致しましたことをお詫びし訂正いたします。

清友会行事のお知らせ

お誘い合わせのうえ 多数のご参加をお待ちしております

第8回 フェスタ清友

平成24年10月14日(日)
 第1部 清水谷高校 小体育館
 午後 1:00~4:00
 第2部 懇親会「かごの屋」
 午後 4:30~6:30
 会費 3,000円
 詳しくはp.23をご覧ください



講演会

平成24年11月25日(日)
 午後 1:30~3:00
 会場 済美館 2階
 講師 清瀬 みさを先生
同志社大学文学部美学芸術学科 教授
 演題 「学校建築の新風：
 大阪府立清水谷高等学校
 済美館について」
 詳しくはp.8をご覧ください。



新年互礼会

平成25年1月20日(日)
 午後 0:30~3:00
 会場 ホテルグランヴィア大阪 20階
 会費 10,000円



総会・懇親会

平成25年6月16日(日)
 午後 0:30~3:00
 会場 ホテルグランヴィア大阪 20階
 会費 8,000円



事務局だより

個人情報保護について

プライバシーポリシー
(個人情報保護方針)
 同窓清友会は、高度情報通信社会における個人情報保護の重要性を認識し、個人情報の保護に努めます。

◎全会員の名簿はプライバシー保護のため、平成4年版以降発行していません。各回生で名簿が必要な場合は回生代表を通じて原簿「コピー」または「宛名シール」を頒布いたします。その際、個人情報保護法に則り使用目的に関する誓約書の提出をお願いいたします。

住所・氏名の変更やご逝去等がありましたら、葉書又はFAX・Eメールにて清友会または回生代表までご連絡下さい。

◎会費払込みのご案内
 会費の納入は同封の払込用紙でお願います。

郵便振替口座(会費納入専用)
 00910-6-101489

「同窓 清友会」
 ◎回生代表の変更があれば、毎年6月末までに事務局までご連絡下さい。

◎同窓会館「済美館」の使用及び母校校舎見学について
 事務局までご相談下さい。
 ◎事務局への連絡、お問い合わせ
 済美館一階 厚見姉まで。

住所 大阪市天王寺区清水谷町2-44 (〒543-0011)
 清水谷高校内「清友会」
 Tel 06-6768-4159 Fax 06-6770-5015

●編集後記●

社団法人清友会は解散し、平成24年1月に清算終了しました。同窓清友会に一本化された同窓会を伝統に培われた、より親しみやすい魅力あるものにしていかなければなりません。

(ご意見、ご要望をお寄せ下さい。)(E)

お問合せ先 清友会事務局

TEL06-6768-4159 FAX06-6770-5015 火・金曜日 10:00~16:00